

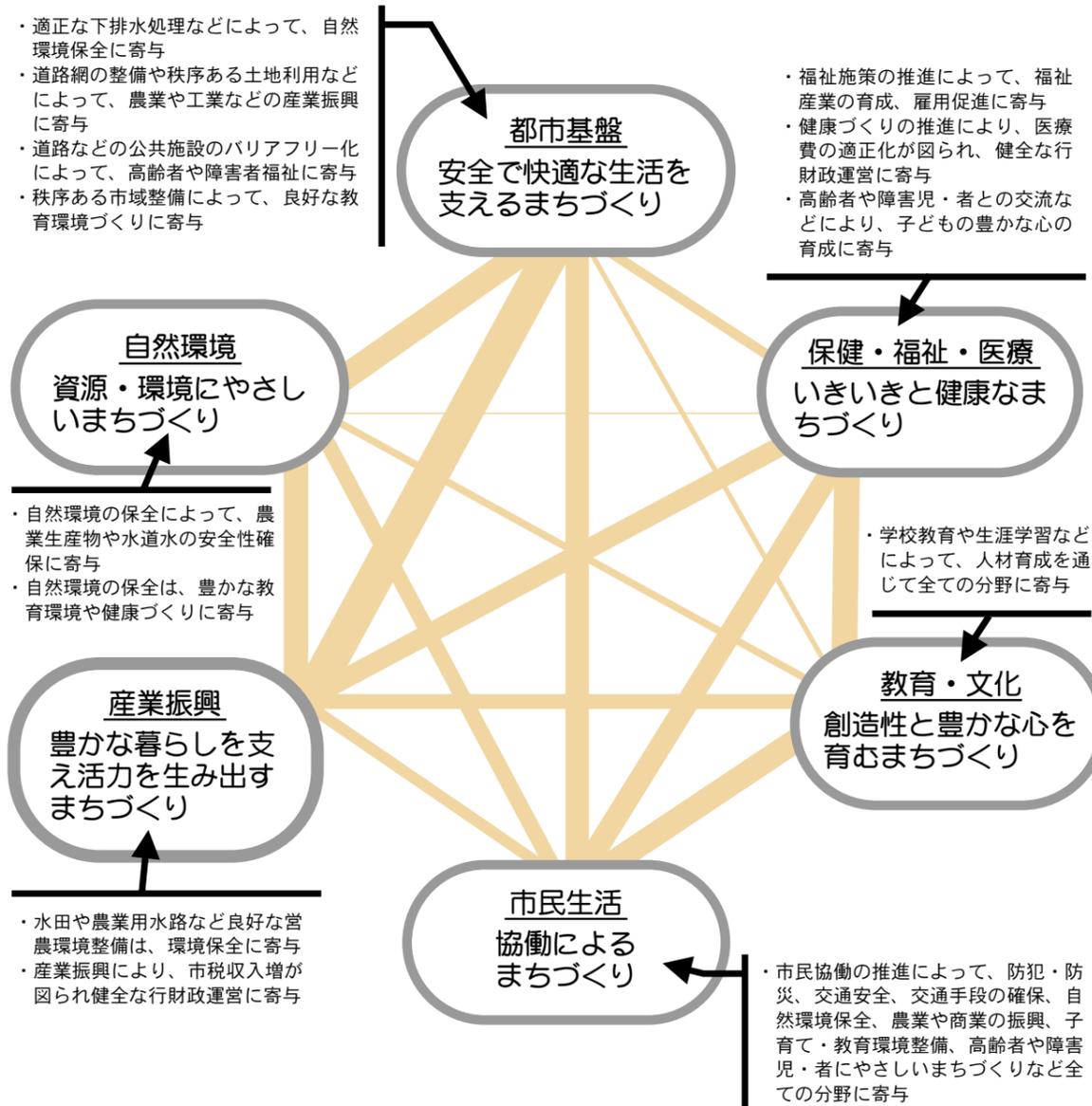
# 資料

- 1 政策の相互関連・・・・・・・・・・108ページ
- 2 施策優先度表・・・・・・・・・・109
- 3 計画策定の主な経過・・・・・・・・110
- 4 総合計画審議会・・・・・・・・・・113
- 5 市民アンケート結果・・・・・・・・119
- 6 まちづくりアンケート結果・・127

# 1 政策の相互関連

筑後市の将来像である「緑に恵まれ、活力と笑顔あふれる協働のまち 筑後市」を実現するために、7つの政策と35の施策を推進しますが、政策や施策は相互に関連し合っており、総合的に取り組むことで将来像が実現されます。

そこで、全ての政策の土台となる行財政運営を除く6つの政策について、それぞれの結びつきを表しました。政策間の特徴的な関連事例と、政策間を結ぶ線  で関連度合いを示しています。※  の幅が大きいほど、関連度合いが強くなります。



# 2 施策優先度表

## (1) 施策優先度の設定について

第四次総合計画では、計画の進行管理を確実にを行うこと、また、そのことによってそれぞれの施策の進捗の程度を容易に把握できるようにすることをねらいの一つとしています。

そのためには、明確な目標の設定が必要であり、その目標を達成するための手段を明確にしなければなりません。そこで、本計画では施策ごとに成果を測る指標とその目標値を設定することとしました。

仮に、施策の成果目標値を各施策独自に設定した場合、厳しい財政状況の中で目標値の達成ために必要な財源が不足することが予想されます。配分できる財源が少ない中での行政運営には、ニーズに応じて「あれも」「これも」実施するというのではなく、施策の目標とその進捗の程度に応じて「あれか」「これか」という選択と集中の姿勢が必要です。

この「あれか」「これか」という選択と集中による行政運営のため、施策の優先度を設定することとしました。

## (2) 施策優先度表

次の施策優先度表は、施策の目標値を向上させようとする程度を表す「成果向上優先度」と、財源を配分する際の目安とする「財源投下優先度」について、各施策間の位置関係を分かり易くするために全体を9区画として座標化したものです。

なお、この表はあくまで施策に取り組む姿勢と、財源配分の優先度を相対的に示したものであり、絶対的な財源投下量を示すものではありません。

		財源投下優先度		
		低	中	高
成果向上優先度	高	1-2 下水処理施設などの整備 2-2 循環型社会の形成 5-2 青少年の健全育成 5-5 男女共同参画社会の推進 6-3 市民との協働による防災体制の充実 7-2 効率的な行財政運営の推進 7-3 市民から信頼される職員・組織づくり	2-1 自然環境保護と環境意識の醸成 3-2 工業の振興 5-1 学校教育の充実 6-2 積極的な広報・広聴の展開 7-1 情報化の推進と管理	4-1 子育て支援の充実 4-2 健康づくりの推進 6-1 市民協働の推進
	中	1-4 秩序ある市域の整備 1-6 道路整備による利便性の向上 5-3 生涯学習・スポーツの推進 6-4 市民との協働による犯罪が起こりにくいまちづくり 6-5 市民との協働による交通安全体制の充実	1-1 安全な水道水の安定供給 1-3 消防・救急体制の整備 2-3 河川・水路などの維持管理 3-1 農業の振興 3-3 商業・観光の振興 4-3 高齢者福祉の充実 4-4 障害児・者福祉の充実 5-6 人権・同和教育の推進 7-4 広域行政の推進	1-5 公共交通の確保と駅の利便性向上
	低	3-4 勤労者福祉の向上 4-6 地域福祉体制の整備 5-4 伝統文化・郷土文化の継承	4-5 低所得者福祉の充実 6-6 衛生的で安らげる生活環境づくり	

### 3 計画策定の主な経過

#### (1) 庁内会議など

平成17年1月12日	庁議	計画策定の基本的な方針について協議。 ・計画期間を平成19～28年度の10年間とする。期間中間期（5年後）に見直す。 ・行政評価を活用した総合計画を策定する。
平成17年2月9日	庁議	第四次総合計画の策定体制について協議。
平成17年5月11日	第1回政策決定会議	策定スケジュール、市民アンケートの実施について協議。
平成17年5月27日	総合計画説明会	全課長、係長を対象に計画策定の基本方針、スケジュール、役割分担などについて説明。
平成17年5月31日	第2回政策決定会議	施策の大綱（案）、市民委員会（役割、体制など）、市民アンケート（設問案など）について協議。
平成17年8月3～4日	施策設定会議	政策別の関係課長で新総合計画の施策とそのねらい、成果指標（ねらいの達成度合いを測る指標）を設定。
平成17年9月30日	第3回政策決定会議	基本構想（素案）、施策設定会議結果について協議。
平成17年11月8日～12月9日	施策と基本事業設定会議	施策別の関係課長・係長で、施策の環境変化と課題の把握、施策の意図（ねらい）と成果指標、基本事業（施策実現の手段）などを設定。
平成18年1月12日	土地利用構想協議①	関係課による土地利用構想協議。
平成18年2月2～17日	施策・基本事業の成果指標計算式の設定	成果指標の数値を算出する計算式などを設定。
平成18年2月10日	土地利用構想協議②	関係課による土地利用構想協議。
平成18年3月1日	第4回政策決定会議	施策と基本事業設定結果などについて協議。
平成18年3月14～31日	基本事業への事務事業のぶら下げ	現行の事務事業を基本事業へぶら下げる。体系表の完成。
平成18年5月11日	第5回政策決定会議	施策の優先度検討、実施計画、将来都市像、土地利用構想について協議。
平成18年5月15～26日	成果指標の現状値取得	市民アンケート結果や業務上のデータなどから成果指標の現状値を把握。
平成18年6月8日	第6回政策決定会議	施策の優先度検討、実施計画、将来都市像、土地利用構想について協議。
平成18年7月4日、6日	第7回政策決定会議	施策間の優先度（財源投下優先度、成果向上優先度）について協議。

平成18年7月11～25日	施策と基本事業の目標値設定	施策優先度に基づき、成果指標の前期（平成23年度）目標値を設定。
平成18年8月7日	第8回政策決定会議	施策の目標値設定、総合計画審議会、将来都市像、土地利用構想について協議。
平成18年8月23日	第9回政策決定会議	総合計画審議会、将来都市像、土地利用構想について協議。
平成18年9月7日	第10回政策決定会議	基本計画（案）について協議。
平成18年9月13日	第11回政策決定会議	基本計画（案）について協議。
平成18年10月11日	第12回政策決定会議	実施計画事業（案）について協議。
平成18年10月23日	第13回政策決定会議	実施計画事業（案）について協議。
平成19年2月5日	第14回政策決定会議	基本構想（案）、基本計画（案）について協議。

#### (2) 市民参画など

平成17年6月11～26日	市民アンケート実施	総合計画策定の基礎資料とするため実施。 18歳以上の市民3,000人が対象。回収数1,074。回収率35.8%。
平成17年10月～平成18年2月	市民委員会	委員28名。6つの分野で部会を設置して活動。 ・都市基盤部会（6回） ・環境保全部会（4回） ・産業振興部会（5回） ・保健・福祉・医療部会（4回） ・教育・文化部会（5回） ・市民生活部会（5回） 平成18年2月27日 各部会の意見報告会を開催。
平成17年12月19～21日	地域懇談会	中学校区別に3つの会場で開催。 19日：羽犬塚中校区（会場：勤労者家庭支援施設） 20日：筑後北中校区（会場：サザンクス筑後） 21日：筑後中校区（会場：JA筑後地区センター）
平成18年3月17～31日	まちづくりアンケート実施	成果指標の現状値把握のため実施。 18歳以上の市民3,000人が対象。回収数1,492。回収率49.7%。
平成18年5月9日～6月2日	出前市長室	政策と施策（案）を説明。11小学校区で開催。
平成18年10月18日～11月7日	パブリックコメント	基本構想（案）と基本計画（案）について意見募集。

第四次筑後市総合計画 市民委員会 委員名簿 (敬称略、順不同)

部会名	氏名	
都市基盤部会	(部会長)	若杉 勝弘
		稲富 厚生
		近藤 幸敏
		永松 武敏
環境保全部会	(部会長)	角 卯一郎
		加藤 美香子
		下坂 忠久
		田中 則隆
		野口 喜好
産業振興部会	(部会長)	小野田 耕
		丸山 功
		城崎 典子
		下川 利明
		三池 優
保健・福祉・医療部会	(部会長)	中山 博友
		坂口 三男
		江崎 元美
		村上ヤスコ
教育・文化部会	(部会長)	渡邊 亨
		中村 武静
		中村 紀穂
		森山 早苗
		宇美 憲幸
市民生活部会	(部会長)	中西 資典
		城崎 和浩
		松岡 英機
		横溝 隆樹
		吉開 富士雄

## 4 総合計画審議会

### (1) 審議会への市長の諮問

<p>18筑市公第430号 平成18年8月29日</p>
<p>筑後市総合計画審議会会長 様</p> <p style="text-align: right;">筑後市長 桑野 照史</p> <p style="text-align: center;">第四次筑後市総合計画について (諮問)</p> <p>筑後市総合計画審議会規則第2条の規定に基づき、次のとおり諮問します。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>第四次筑後市総合計画「基本構想」(案)及び「基本計画」(案)に関し、その実現性及び妥当性について貴会の意見を求めます。</p>

(2) 審議会から市長への答申

平成19年1月11日

筑後市長 桑野 照史 様

筑後市総合計画審議会  
会長 駄田井 正

第四次筑後市総合計画について (答申)

本審議会は、平成18年8月29日付18筑市公第430号にて第四次筑後市総合計画「基本構想」(案)及び「基本計画」(案)の実現性及び妥当性について諮問を受け、慎重に審議を重ねてまいりました。

基本構想(案)については、本市をとりまく社会環境や、歴史的・自然的・社会的な特性を踏まえ、本市の目指すべき方向を的確に捉えているかという視点に立ち、また、基本計画(案)については、主に各施策が基本構想(案)で示す方向に即しているか、目指す市の姿を実現するための手段となっているか、市民に分かりやすい表現・構成になっているか、という視点に立って審議いたしました。

この結果、基本構想(案)、基本計画(案)ともに審議に当たったの視点に概ね合致するものと評価します。

なお、計画の実施に当たっては、社会経済情勢が目まぐるしく変化する中、これまでの習慣や仕組みにとらわれず、計画の弾力的な運用を図られるとともに、総合計画の市民への普及に努め、市民や行政などが情報や認識を共有しながら協働のまちづくりを進めていただきたいと思います。

また、この計画に導入されている行政評価の考え方の定着に努め、効率的で効果的な行財政運営を推進し、施策や事務事業の優先順位付けや公的関与の範囲の見直しなどの行財政改革を進めることも必要であると考えます。

このほか、別紙に掲げる本審議会の意見・要望等を十分尊重し、可能な限り計画へ反映していただきますよう要請します。

(3) 筑後市総合計画審議会 委員名簿

(敬称略、順不同)

所属・役職等	氏名	
久留米大学経済学部教授	(会長)	駄田井 正
久留米大学文学部社会福祉学科講師	(副会長)	潮谷 恵美
筑後市議会 総務文教委員長		池田 光政
筑後市議会 総務文教副委員長		五十嵐 多喜子
筑後市議会 厚生委員長		貝田 義博
筑後市議会 厚生副委員長		水町 好
筑後市議会 建設経済委員長		島 啓三
筑後市議会 建設経済副委員長		坂本 好教
筑後市教育委員会 委員長		田中 秀彦
筑後市農業委員会 会長		田島 照臣
上原々北行政区長		田村 公男
新溝行政区長		瀬戸 博之
上北島行政区長		古賀 榮紀
筑後商工会議所 会頭		牛島 巖
福岡八女農業協同組合筑後地区理事代表		田中 隆夫
筑後市社会福祉協議会 会長		正山 英隆
筑後市PTA連合会 会長		篠原 弘
筑後市女性連絡協議会 事務局長		江崎 麻里子
第四次筑後市総合計画市民委員会委員		中西 資典
市民公募委員		宇美 憲幸
市民公募委員		本田 晴彦
市民公募委員		村上 隆春

筑後市総合計画審議会 部会編成

(敬称略、順不同)

部会名	氏名	
総務文教部会 (8名) (担当分野) 教育・文化 市民生活 行財政運営	(部会長)	田村 公男
	(副部会長)	池田 光政
		五十嵐 多喜子
		田中 秀彦
		篠原 弘
		江崎 麻里子
		中西 資典
		村上 隆春
厚生部会 (6名) (担当分野) 自然環境 保健・福祉・医療	(部会長)	潮谷 恵美
	(副部会長)	貝田 義博
		水町 好
		瀬戸 博之
		正山 英隆
		本田 晴彦
建設経済部会 (8名) (担当分野) 都市基盤 産業振興	(部会長)	駄田井 正
	(副部会長)	島 啓三
		坂本 好教
		田島 照臣
		古賀 榮紀
		牛島 巖
		田中 隆夫
		宇美 憲幸

(4) 審議経過の概要

■全体会

第1回全体会議 (平成18年8月29日)

- ・ 審議会委員委嘱書交付
- ・ 会長、副会長選出
- ・ 市長から審議会へ諮問
- ・ 審議会の運営について協議

第2回全体会議 (平成18年9月28日)

- ・ 第四次筑後市総合計画の策定方針について協議

第3回全体会議 (平成18年11月16日)

- ・ 3部会による基本構想(案)審議結果の報告と協議

第4回全体会議 (平成18年12月21日)

- ・ 3部会による基本計画(案)審議結果の報告と協議
- ・ 答申書(案)について協議

■部会

3部会に分かれて基本構想(案)及び基本計画(案)の担当政策を審議

- ・ 総務文教部会

9月28日	部会長及び副部会長の選任 今後の進め方について
10月12日	基本構想(案)について
10月19日	基本構想(案)について
10月26日	基本計画(案)教育・文化について
11月 2日	基本計画(案)教育・文化について
11月 9日	基本計画(案)市民生活について
11月30日	基本計画(案)行財政運営について

## 5 市民アンケート結果

### [調査概要]

#### (1) 調査の目的

市民の市政に対する評価や、今後のまちづくりに対するニーズや意識を統計的に把握し、「第四次筑後市総合計画」策定における基礎資料とするために実施したものです。

#### (2) 調査の方法

##### [調査対象]

市内在住の18歳以上の市民3,000人

##### [調査方法]

回答者に調査票と返信用封筒を郵送し、回答を記入してもらったうえで、調査票を返送してもらう郵送回収方法で実施しました。

##### [調査実施期間]

平成17年6月11日（土）から6月26日（日）まで

##### [回答数]

調査対象	配布数	回収数	回収率
18歳以上の市民	3,000	1,074	35.8%

##### [集計方法]

筑後市民全体の意見としての有効性を高めるため、筑後市の人口構成と年代別の有効回収率の差を加重集計し、人口構成の実態に近づける補正を行って集計・分析をしています。（年齢未回答のものは集計に入っていません）

	母集団数		有効回収数・有効回収率		補正率	補正值
18-20歳代	5,684	15.3%	112	10.4%	1.468	164
30歳代	6,278	16.9%	149	13.9%	1.219	182
40歳代	5,881	15.8%	129	12.0%	1.318	170
50歳代	7,037	18.9%	217	20.2%	0.938	204
60歳代	5,537	14.9%	217	20.2%	0.738	160
70歳以上	6,722	18.1%	250	23.3%	0.778	195
	37,136	100.0%	1,074	100.0%	1.077	1074

※[18-20歳代]の年代区分については、20-29歳の人口を母集団数として計算しています。

※[70歳以上]の年代区分については、90歳以上の回答は少ないと考えられるため70-89歳の人口を母集団数として計算しています。

$$[\text{補正率}] \quad i \text{ 年代補正率} = \frac{\text{アンケート回収数}}{\text{筑後市人口総計}} \div \frac{i \text{ 年代アンケート回収数}}{i \text{ 年代筑後市人口数}}$$

集計結果はすべて、小数点以下第2位を四捨五入しています。そのため、比率の合計が100%にならないことがあります。

#### ・厚生部会

9月28日	部会長及び副部会長の選任 今後の進め方について
10月 5日	基本構想（案）について
10月12日	基本構想（案）について 基本計画（案）自然環境について
10月19日	基本計画（案）自然環境について
10月26日	基本計画（案）自然環境、保健・福祉・医療について
11月 2日	基本計画（案）保健・福祉・医療について
11月16日	基本計画（案）保健・福祉・医療について
11月30日	基本計画（案）保健・福祉・医療について

#### ・建設経済部会

9月28日	部会長及び副部会長の選任 今後の進め方について
10月13日	基本構想（案）について
11月 2日	基本構想（案）について 基本計画（案）都市基盤について
11月16日	基本計画（案）都市基盤について 基本計画（案）産業振興について
12月 1日	基本計画（案）産業振興について

■ 筑後市の現状について

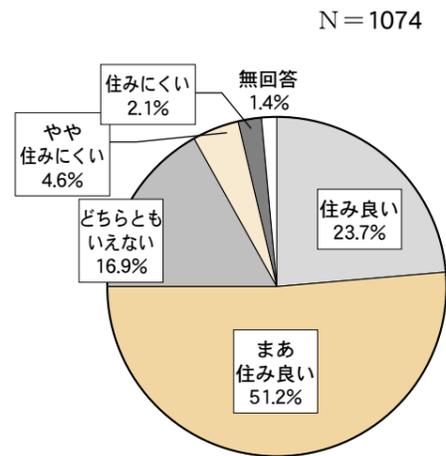
問1 一言で言って、筑後市はあなたにとって住みよいまちだと思いますか。(○は1つ)

「まあ住みよい」と回答した人の割合が51.2%と、もっとも高くなっています。  
「住みよい」+「まあ住みよい」をあわせると、約75%の人が筑後市を「住みよいまち」と評価しています。前回調査時より反対に「住みにくい」+「やや住みにくい」と回答した人の割合は、1割以下(6.7%)となっています。

※前回=前回調査結果[平成6年11月]の数値

【年代別分析】【校区別分析】・・・124,125頁参照

- ・男女では、大きな差異はありませんでした。
- ・50歳代で住みにくいまちだと思う人が1割弱とやや多くなっています。
- ・下妻校区と西牟田校区では、住みにくいまちだと思う人の割合が比較的高くなっています。



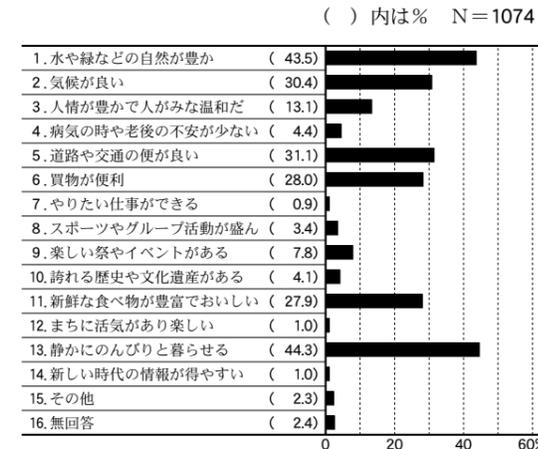
問2 あなたは、筑後市で自慢できるものは何だと思いますか。次の中から3つ以内を選んでその番号を○で囲んでください。

筑後市の自慢できる場所として、もっとも多かったのが「静かにのんびりと暮らせる」の44.3%、つぎに「水や緑などの自然が豊か」で43.5%、「道路や交通の便が良い」31.1%でした。

【前回の調査結果】※類似の設問からみる前回の傾向です。

筑後市の魅力・自慢点(「とても魅力を感じ自慢できる」+「少し魅力がありまあ自慢できる」)

- |    |                |       |
|----|----------------|-------|
| 1位 | 気候が良い          | 54.0% |
| 2位 | 水や緑などの自然が豊か    | 51.8% |
| 3位 | 静かにのんびりと暮らせる   | 50.8% |
| 4位 | 新鮮な食べ物が豊富でおいしい | 46.5% |
| 5位 | 買い物が便利         | 36.1% |



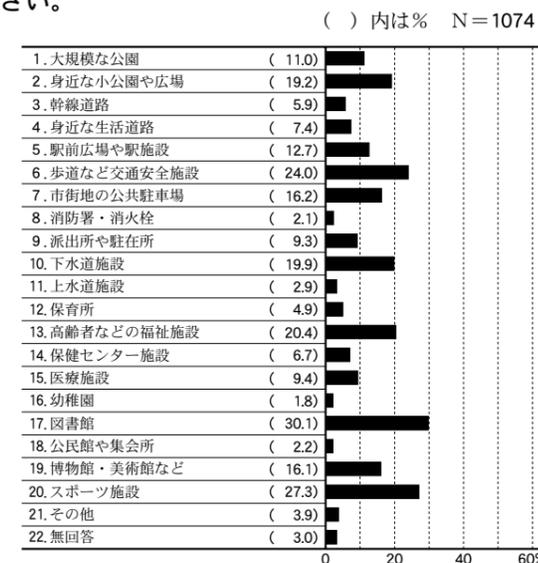
問3 市内の公共施設について、どのようなものが不足しているとお考えですか。次の中から3つ以内を選んでその番号を○で囲んでください。

筑後市で不足している公共施設として、もっとも多かったのが「図書館」の30.1%、つぎに「スポーツ施設」で27.3%、「歩道など交通安全施設」24.0%でした。

前回調査と比べると、「図書館」が不足しているという回答した人の割合が18.4%増加していることと、「下水道施設」が不足しているという回答した人が10.6%減少したのが特徴です。

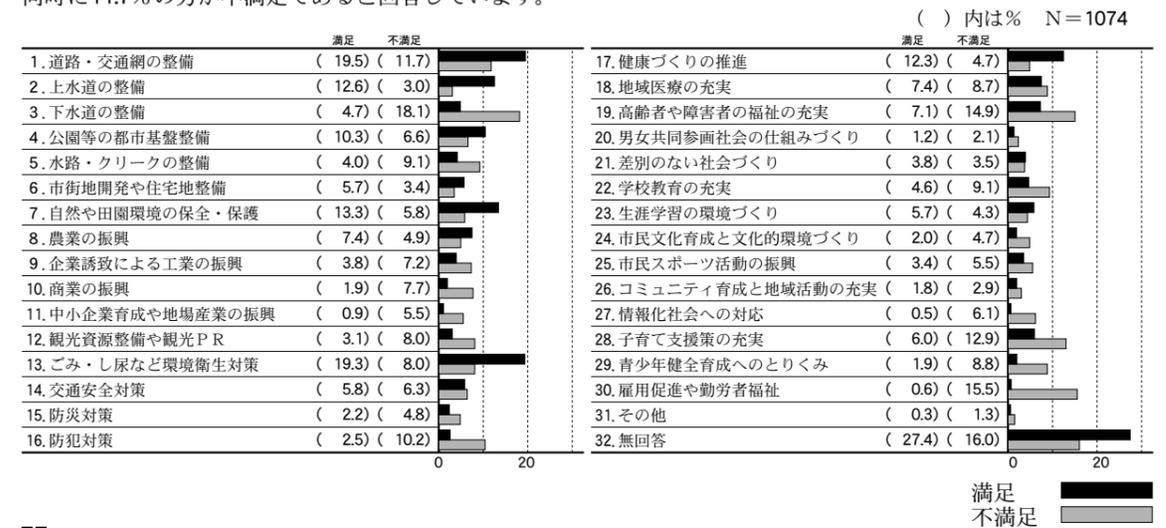
【男女別分析】【年代別分析】【校区別分析】・・・125,126頁参照

- ・男性1位は「スポーツ施設」28.4%、女性1位は「図書館」33.4%でした。
- ・18-20歳代~50歳代は「図書館」が1位、60歳代は「下水道施設」が1位、70歳以上は「高齢者などの福祉施設」が1位でした。
- ・筑後北校区では約3割の人が「派出所や駐在所」が不足しているという回答しています。



問4 筑後市のまちづくりの現状において、あなたが満足しているものと不満であるものそれぞれ3つ以内を選んでその番号を記入してください。

筑後市のまちづくりで満足しているものとして、もっとも多かったのが「道路・交通網の整備」の19.5%でしたが、同時に11.7%の方が不満であると回答しています。



■ 筑後市の将来について

問5 将来の筑後市のまちづくりにおいて、あなたが重要と思われるものと重要ではないと思われるものそれぞれ3つ以内を選んでその番号を記入してください。

重要である 上位5位	今回 [H17]	前回 [H6]
1位 道路・交通網の整備	23.9%	—
2位 自然や田園環境の保全・保護	23.1%	—
3位 下水道の整備	22.6%	—
4位 高齢者や障害者の福祉の充実	20.9%	—
5位 学校教育の充実	19.0%	—

重要でない 上位5位	今回 [H17]	前回 [H6]
1位 男女共同参画社会の仕組みづくり	14.5%	—
2位 市街地開発や住宅地整備	14.4%	—
3位 公園等の都市基盤整備	11.6%	—
4位 道路・交通網の整備	9.6%	—
5位 差別のない社会づくり	9.4%	—

※前回=前回調査結果[平成6年11月]の数値

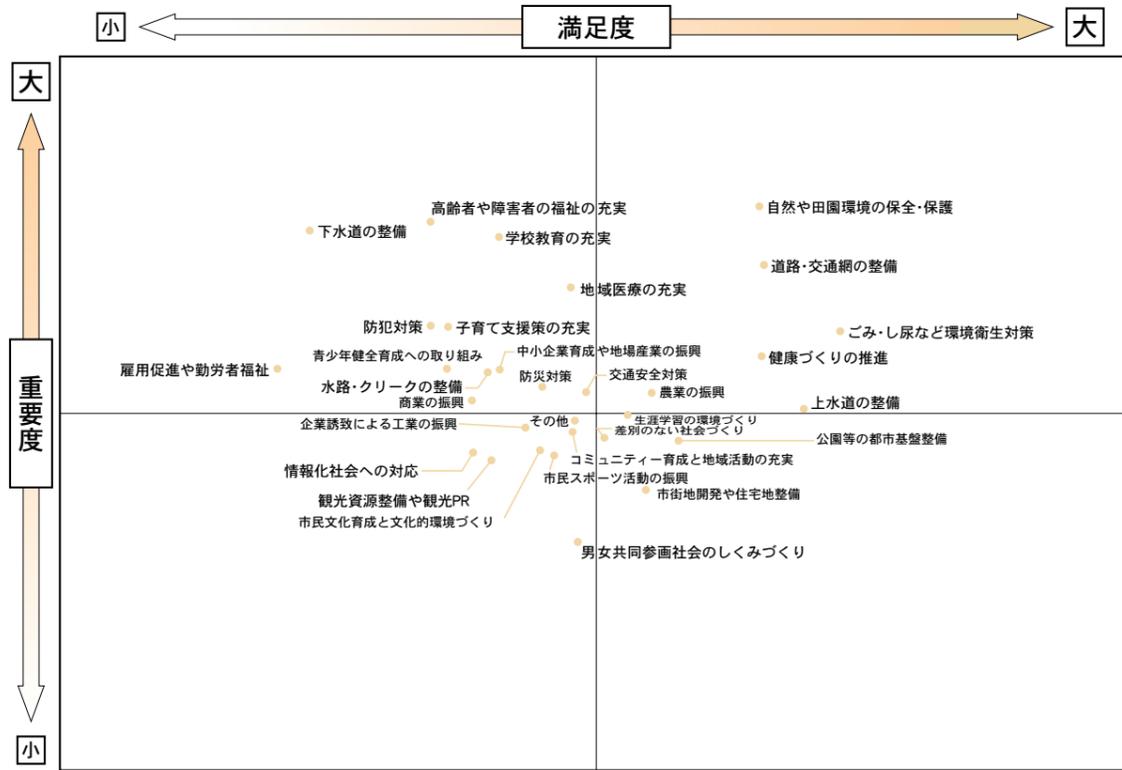
筑後市の将来のまちづくりについて、重要であると思われるものとして、もっとも多かったのが「道路・交通網の整備」の23.9%で、次いで「自然や田園環境の保全・保護」で23.1%、「下水道の整備」22.6%でした。

【前回の調査結果】※類似の設問からみる前回の傾向です。

- | 重要                 | 重要でない |
|--------------------|-------|
| 1位 上下水道や公園等の都市基盤整備 | 37.8% |
| 2位 道路・交通網の整備       | 32.8% |
| 3位 自然や田園環境の保全・保護   | 24.2% |
| 4位 高齢者や障害者の福祉充実    | 24.0% |
| 5位 ごみ・し尿など環境衛生対策   | 18.0% |



[この表は、問4と問5の結果を一つにまとめてあらわしたものです。]



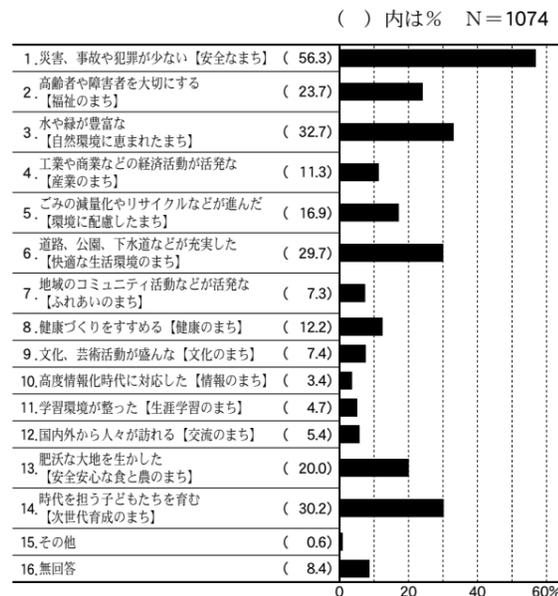
横軸 (満足度) = 「満足である」と回答した人の割合 - 「不満である」と回答した人の割合  
 縦軸 (重要度) = 「重要である」と回答した人の割合 - 「重要ではない」と回答した人の割合  
 満足度、重要度がともに大きいものとしては、「自然や田園環境の保全・保護」、次いで「道路・交通網の整備」でした。

問6 将来の筑後市はどのようなまちになっていくべきだとお考えですか。次の中から3つ以内を選んで、その番号を○で囲んでください。

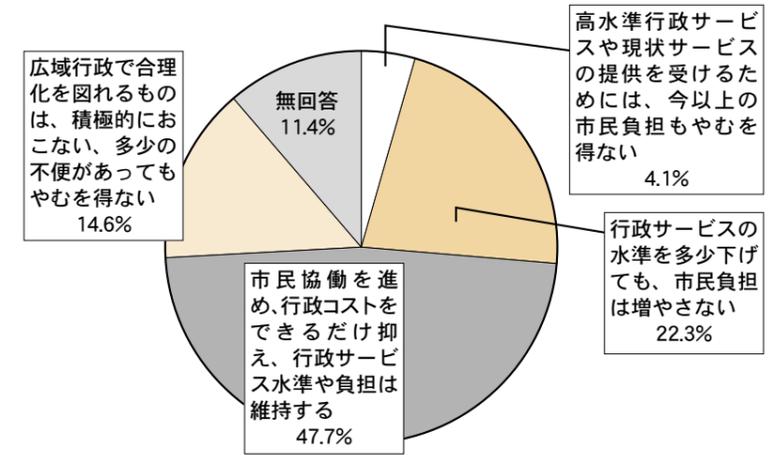
将来の筑後市のすがたとして、半数以上 (56.3%) の人が「災害、事故や犯罪が少ない【安全なまち】」になっていくべきだと回答しています。これは調査時期が平成17年6月であったため、同年3月に発生した福岡県西方沖地震の影響があると考えられます。

[前回の調査結果] ※設問形式は多少異なります (単一回答式)。

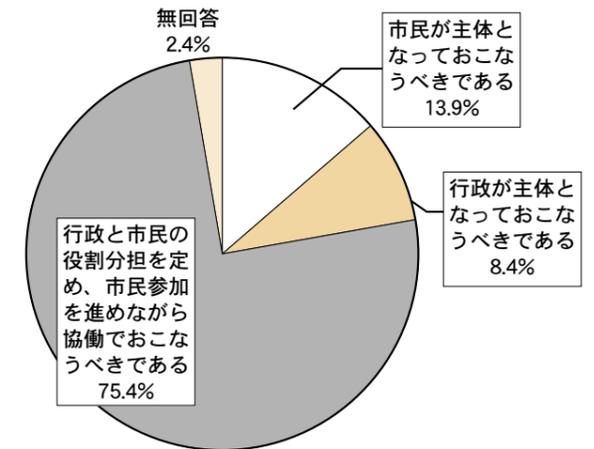
- ・「緑の中で落ち着いた生活ができるまち」 36.0% (1位)
- ・「居住性の高い住宅都市」 33.4% (2位)
- ・「商工業や流通の中核都市」 17.4% (3位)
- ・「観光的魅力の高いまち」 8.9% (4位)
- ・「教育や文化的魅力の高いまち」 2.8% (5位)



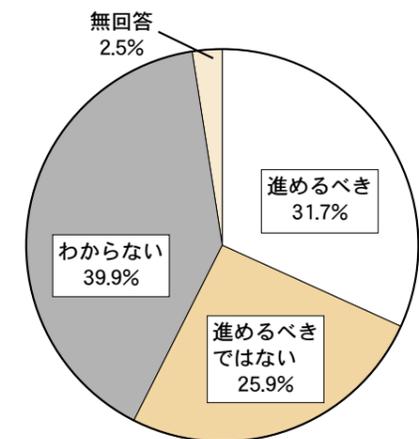
問7 限られた財源の中で、様々な行政課題に対応していくためには今後どのような市政運営が必要であると思われますか。次の4つの中から1つ選んで、その番号を○で囲んでください。



問8 あなたは、これからのまちづくりの主体をどのように考えますか。次の中から1つ選んで、その番号を○で囲んでください。



問9 地方分権が進む中で全国的に市町村合併が進んでいます。あなたは筑後市の合併についてどのように考えますか。次の中から1つ選んで、その番号を○で囲んでください。

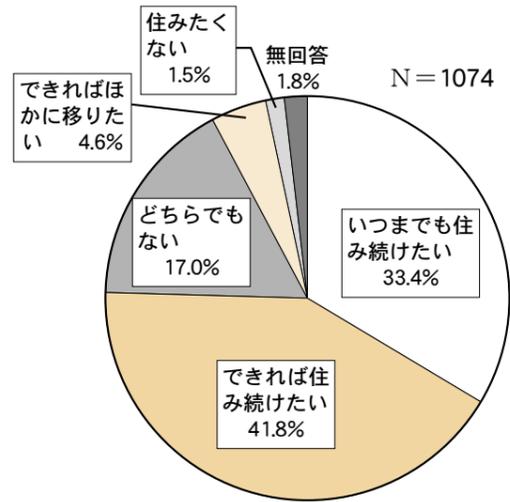


[男女別分析] [年代別分析] . . . . 126頁参照

- ・男性は合併を「進めるべき」と回答した人がもっとも多く、女性は合併を進めるべきかどうか「わからない」と回答した人がもっとも多くなっています。
- ・18-20歳代の約4割 (42.7%) が、合併は「進めるべきではない」と回答しています。
- ・水田校区と下妻校区では、約4割の人が合併を「進めるべき」と回答しています。

問10 あなたは、これからも筑後市に住んでいたいと思いますか。次の中から1つ選んで、その番号を○で囲んでください。

「できれば住み続けたい」と回答した人の割合が、もっとも高く41.8%でした。  
「いつまでも住み続けたい」と回答した人をあわせると、75.2%の人が市内に住みたいとしています。



<参考> 男女別・年代別・校区別での傾向が見られる設問についての結果

[住みよさに関する傾向 (問1)]  
[校区別の調査結果]

下妻校区と西牟田校区では、「住みにくい」(「やや住みにくい」+「住みにくい」)と回答している人が比較的多くなっています。

前回調査結果と比較すると、古川校区と水洗校区で10%以上評価が上がっていることと、西牟田校区では7%評価が下がっているのが特徴です。

N=1074 単位：%

	住み良い	まあ住み良い	どちらともいえない	やや住みにくい	住みにくい	無回答	前回調査
全体(1074)	23.7	51.2	16.9	4.6	2.1	1.4	72.6
筑後校区(137)	24.8	49.6	19.7	1.5	4.4	-	78.1
羽犬塚校区(239)	20.5	58.2	15.5	3.3	0.4	2.1	77.4
筑後北校区(117)	14.5	60.7	16.2	5.1	1.7	0.9	73.4
松原校区(121)	28.1	44.6	21.5	2.5	3.3	0.8	73.6
古川校区(67)	23.9	56.7	10.4	3.0	6.0	-	69.4
水田校区(92)	20.7	50.0	17.4	8.7	1.1	1.1	70.5
水洗校区(78)	51.3	34.6	9.0	3.8	-	1.3	73.5
下妻校区(52)	23.1	42.3	15.4	11.5	5.8	1.9	65.4
古島校区(39)	10.3	66.7	12.8	5.1	-	5.1	70.5
二川校区(57)	29.8	42.1	21.1	1.8	3.5	1.8	65.1
西牟田校区(61)	18.0	47.5	23.0	11.5	-	1.6	72.5
校区無回答(14)	14.3	35.7	28.6	7.1	-	7.1	-

※前回調査=前回調査結果 [平成6年11月] の「住み良い」+「まあ住み良い」回答割合

[年齢別の調査結果]

50歳代で「住みにくい」(「やや住みにくい」+「住みにくい」)と回答している人が1割弱(9.3%)と、やや多くなっています。

前回調査結果と比較すると、20歳代で11.8%評価が上がっていることと、70歳以上で評価が約7.5%下がっているのが特徴です。

N=1074 単位：%

	住み良い	まあ住み良い	どちらともいえない	やや住みにくい	住みにくい	無回答	前回調査
全体(1074)	23.7	51.2	16.9	4.6	2.1	1.4	72.6
18~20歳代(164)	19.5	59.8	13.4	4.3	1.8	0.6	67.5
30歳代(182)	12.6	55.5	24.2	3.8	2.7	0.5	70.7
40歳代(170)	24.1	48.2	18.8	6.5	0.6	2.4	71.8
50歳代(204)	20.1	52.9	16.2	5.9	3.4	1.5	77.5
60歳代(160)	26.9	50.0	15.6	4.4	1.9	1.3	74.7
70歳以上(194)	38.7	42.3	13.4	2.6	2.1	1.5	73.4

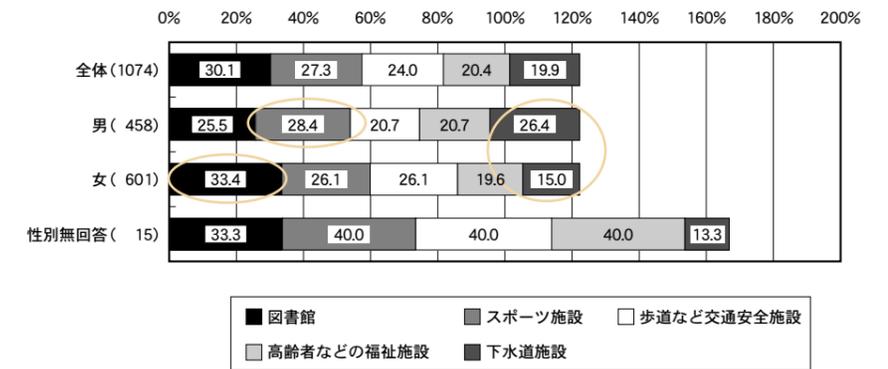
※前回調査=前回調査結果 [平成6年11月] の「住み良い」+「まあ住み良い」回答割合

[市内公共施設に関する傾向 (問3)]  
[男女別の調査結果]

問3の不足している市内公共施設に関する設問について、男性でもっとも多かったのは「スポーツ施設」で28.4%、女性でもっとも多かったのは「図書館」で33.4%でした。

また「下水道施設」は、男性では2番目に多く26.4%であったのに対して、女性では15.0%で7位となり、男女差が大きくなりました。

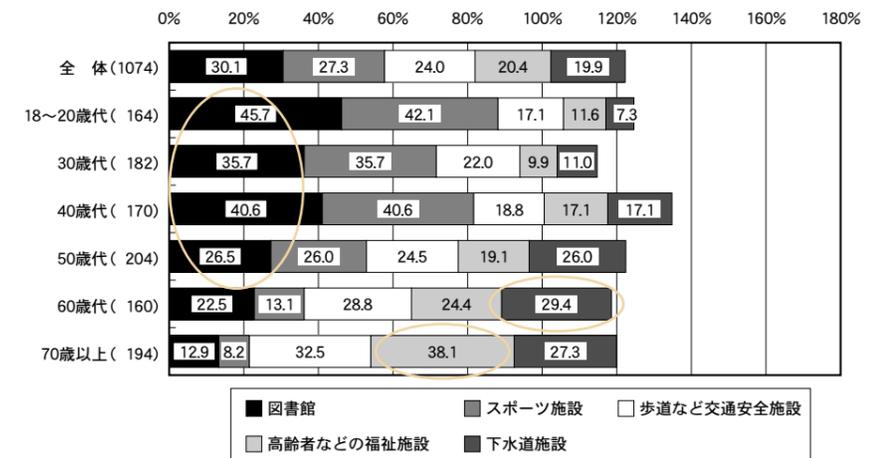
N=1074 単位：%



[年代別の調査結果]

問3の不足している市内公共施設に関する設問について、18-20歳代から50歳代は「図書館」をもっとも不足している施設としてあげています(うち30歳代・40歳代は同率で「スポーツ施設」も1位)。60歳代は「下水道施設」が1位、70歳以上は「高齢者などの福祉施設」がもっとも多くなりました。

N=1074 単位：%



**【校区別の調査結果】**

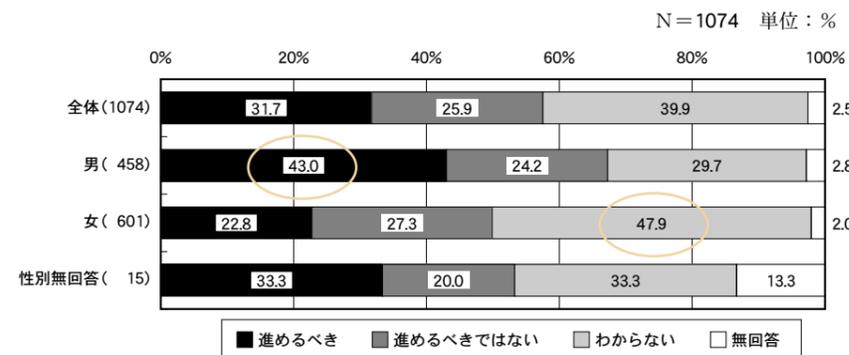
問3の不足している市内公共施設に関する設問について、前回調査時と同様、筑後北校区では「派出所や駐在所」が不足している施設としてあげられています（前回35.6%）。 N = 1074 単位：%

	図書館	スポーツ施設	歩道など交通安全施設	高齢者などの福祉施設	下水道施設	身近な小公園や広場	市街地の公共駐車場	派出所や駐在所
全体(1074)	30.1	27.3	24.0	20.4	19.9	19.2	16.2	9.3
筑後校区(137)	32.8	28.5	22.6	19.7	14.6	22.6	17.5	7.3
羽犬塚校区(239)	27.2	32.6	25.5	18.8	19.2	22.2	13.0	10.5
筑後北校区(117)	29.9	29.9	28.2	17.9	23.9	10.3	12.8	28.2
松原校区(121)	33.9	27.3	21.5	19.8	15.7	15.7	14.0	2.5
古川校区(67)	14.9	25.4	22.4	23.9	26.9	29.9	28.4	-
水田校区(92)	35.9	22.8	27.2	20.7	17.4	18.5	14.1	3.3
水洗校区(78)	28.2	28.2	25.6	11.5	29.5	17.9	23.1	2.6
下妻校区(52)	30.8	28.8	15.4	25.0	19.2	30.8	19.2	3.8
古島校区(39)	35.9	20.5	25.6	35.9	12.8	17.9	17.9	-
二川校区(57)	35.1	22.8	26.3	22.8	17.5	12.3	17.5	15.8
西牟田校区(61)	32.8	16.4	23.0	24.6	29.5	16.4	9.8	19.7
校区無回答(14)	14.3	14.3	7.1	21.4	7.1	14.3	28.6	7.1

**【合併に関する傾向（問9）】**

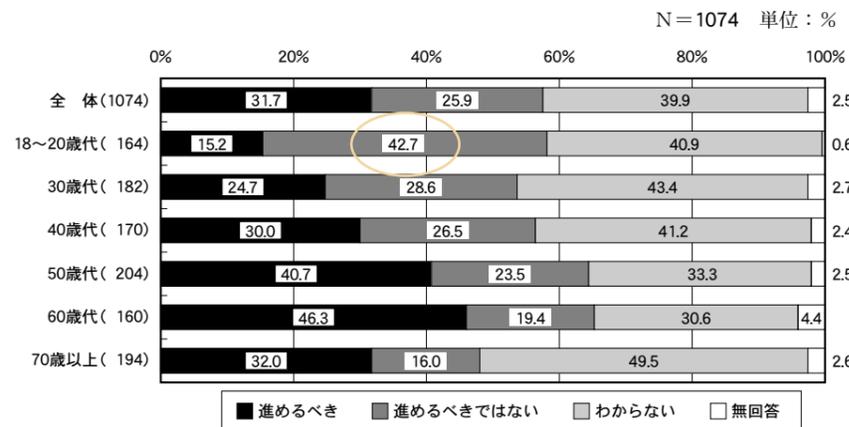
**【男女別の調査結果】**

問9の合併に関する設問について、合併を「進めるべき」と回答した男性は43.0%いたのに対して、女性は22.8%でした。女性の約半数（47.9%）は合併を進めるべきかどうか「わからない」としています。



**【年代別の調査結果】**

問9の合併に関する設問について、18～20歳代の約4割（42.7%）が、合併を「進めるべきではない」と回答しています。



## 6 まちづくりアンケート結果

**【調査概要】**

**(1) 調査の目的**

本調査は、第四次筑後市総合計画の策定や行政サービスの目的達成度を客観的な数値を使って評価するために市民の行動や意識の実態を把握することを目的に実施したものです。この調査結果は行政資源（お金や施設、人員など）の適正な使い方をするための行政評価の取り組みなどに活用されます。

**(2) 調査の方法**

**【調査対象】**

市内在住の18歳以上（平成17年4月1日現在）の筑後市民の中から3,000人を対象としました。

**【調査方法】**

回答者に調査票と返信用封筒を郵送し、回答を記入してもらったうえで、調査票を返送してもらう郵送回収方法で実施しました。

**【調査実施期間】**

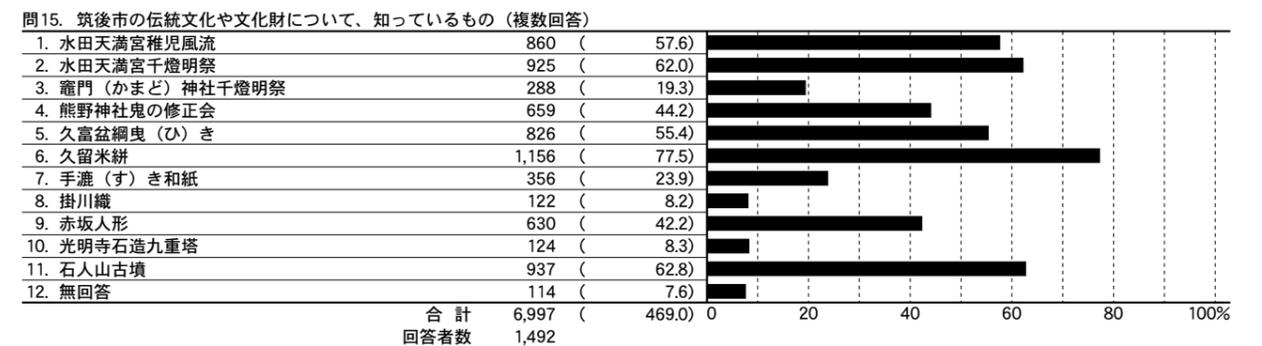
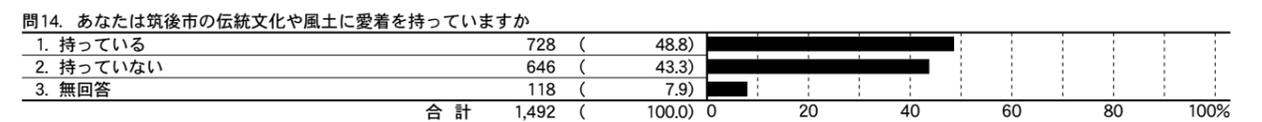
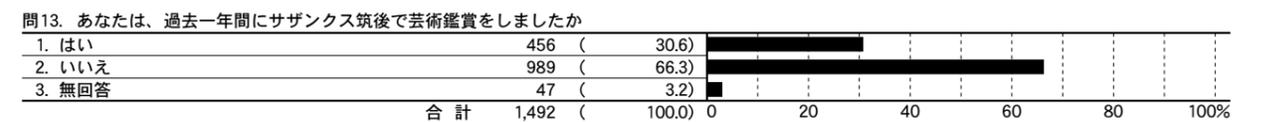
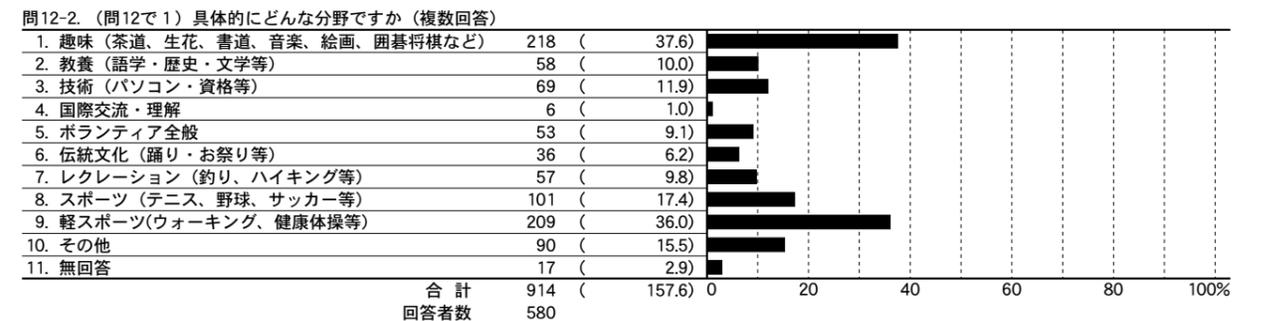
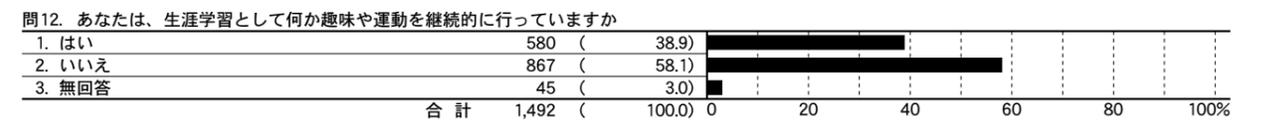
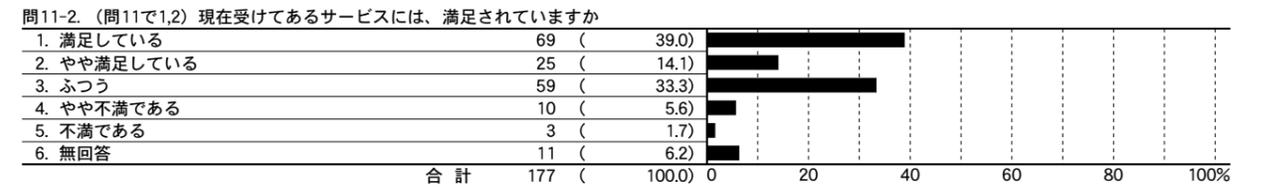
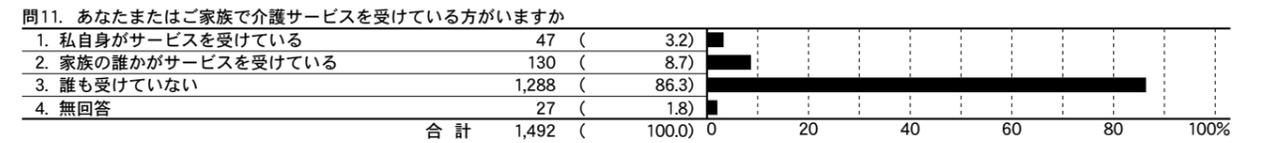
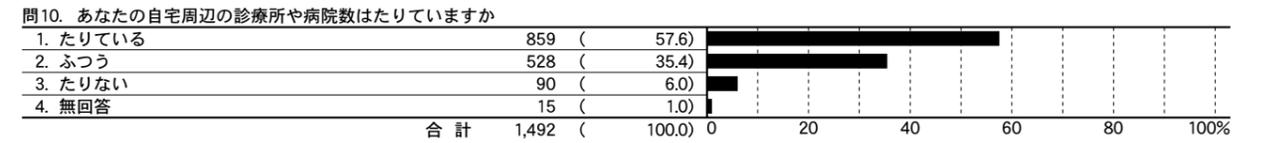
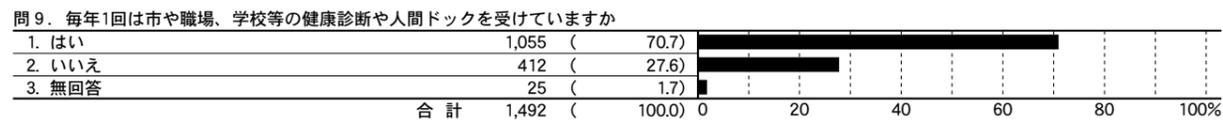
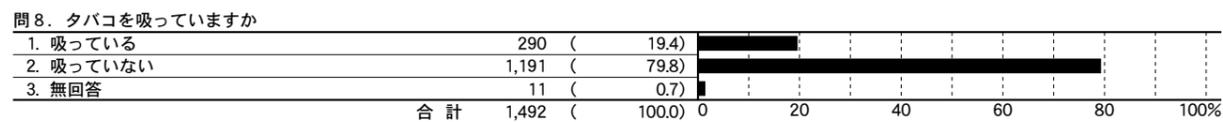
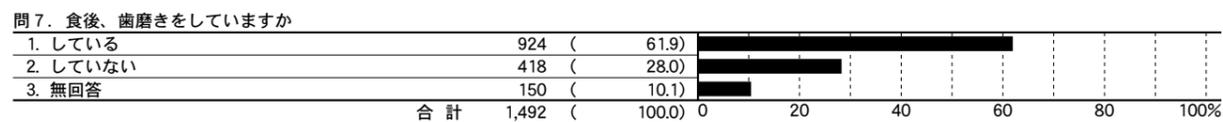
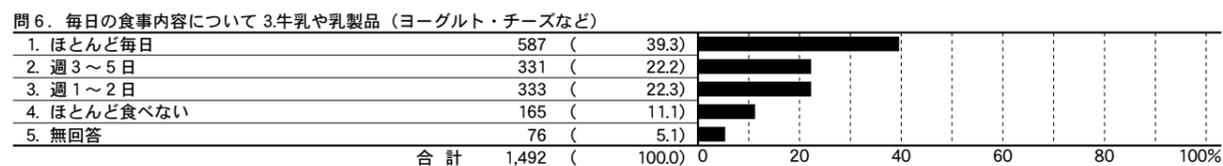
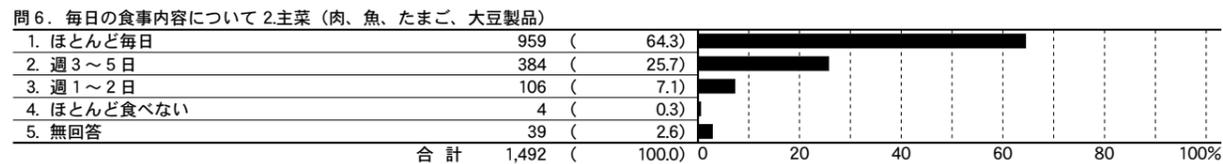
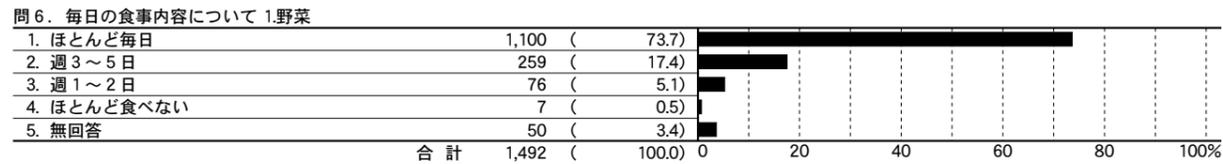
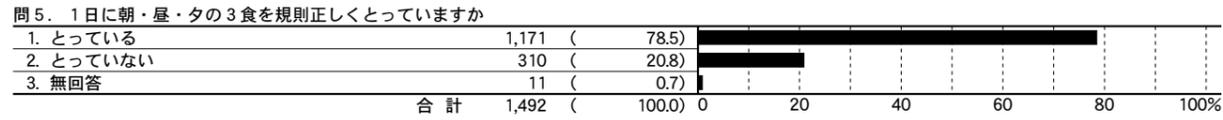
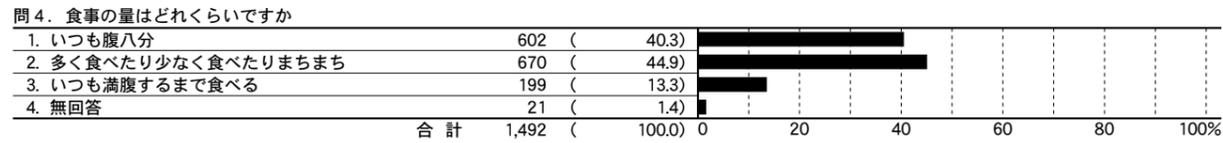
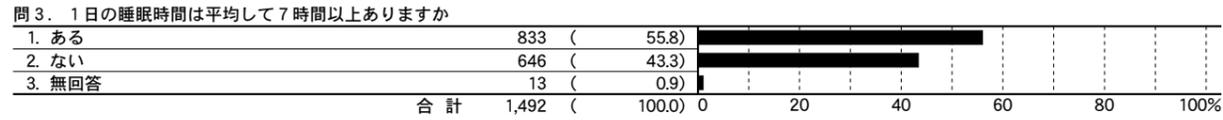
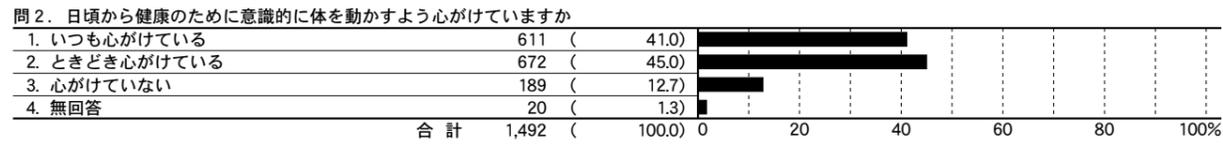
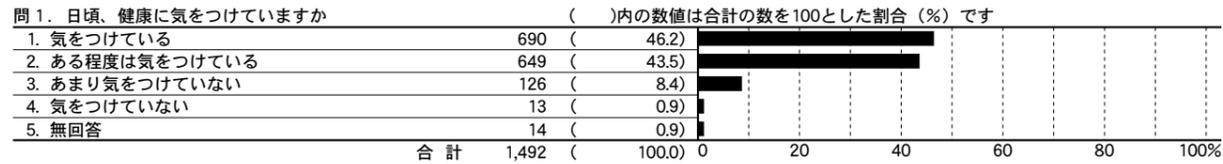
調査票発送 平成18年3月17日（金）  
 調査票返送期日 平成18年3月31日（金）

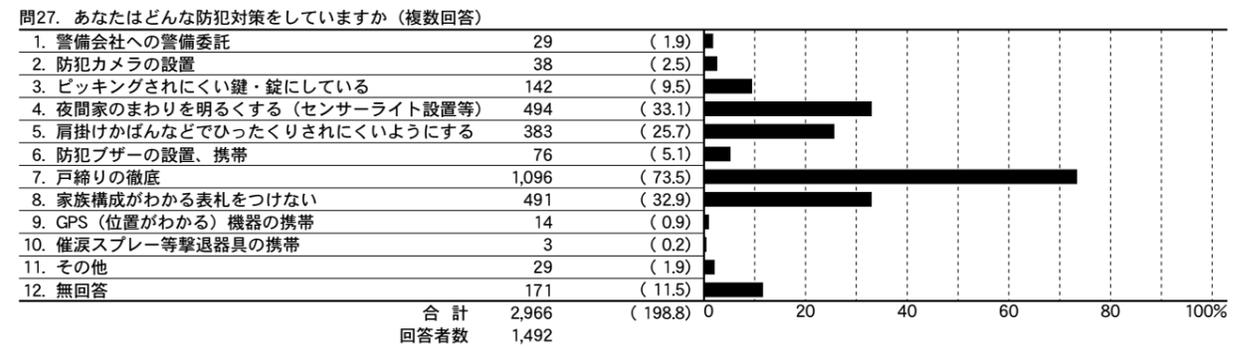
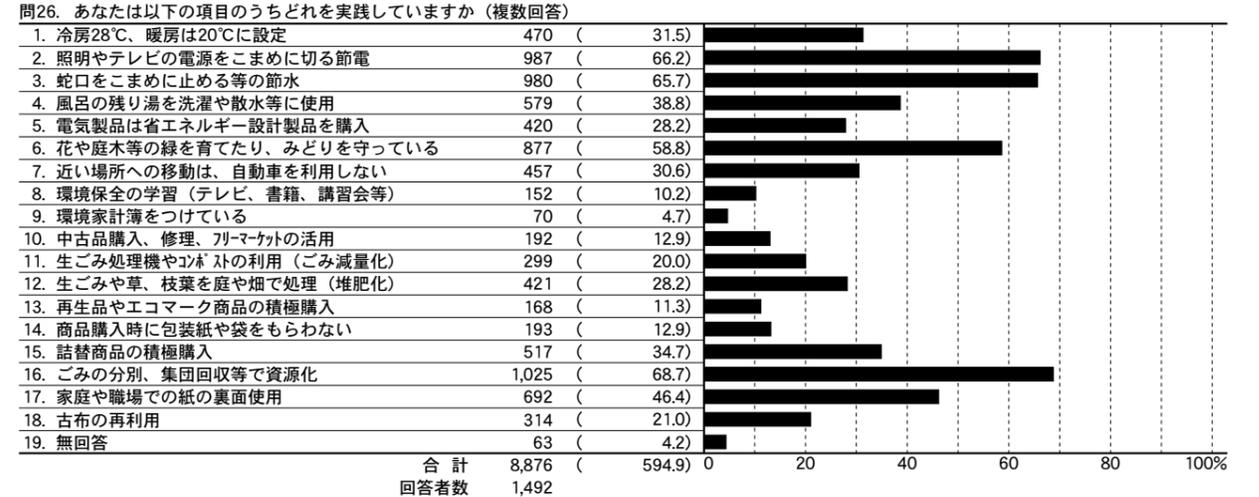
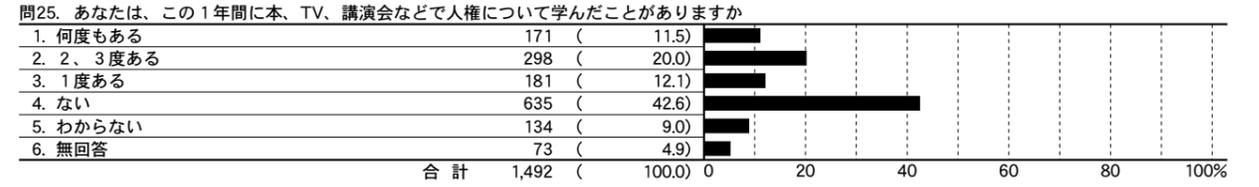
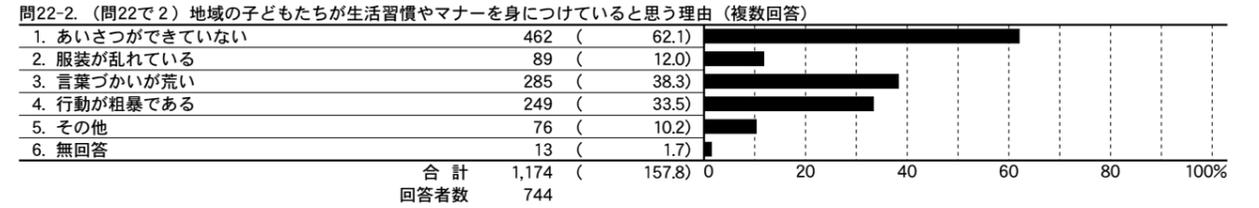
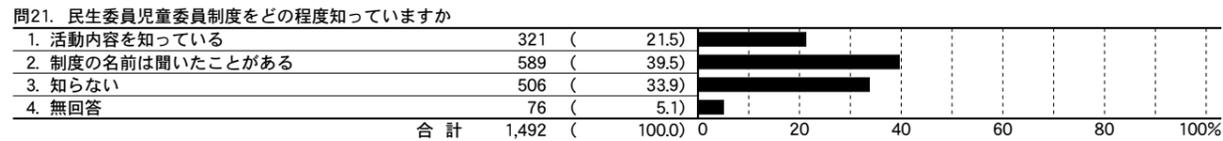
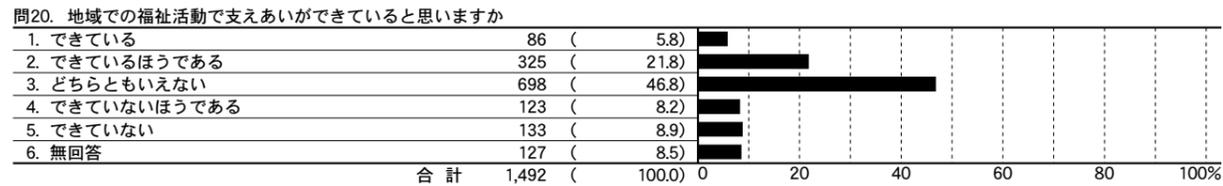
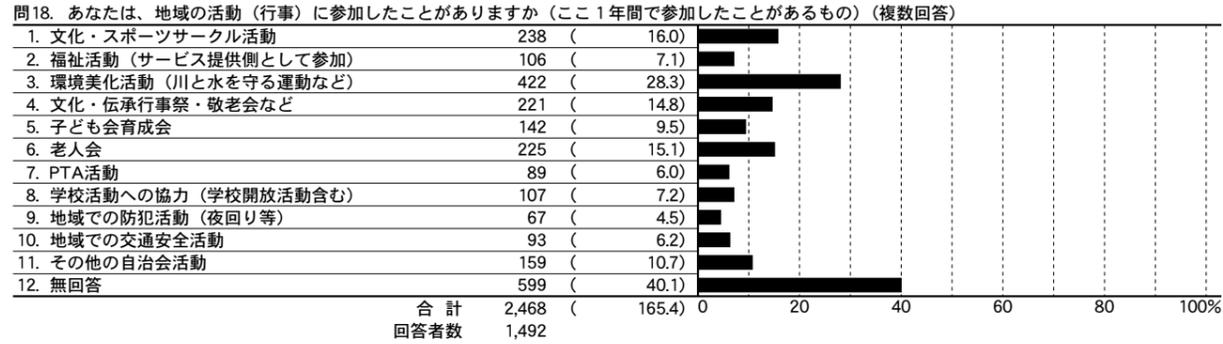
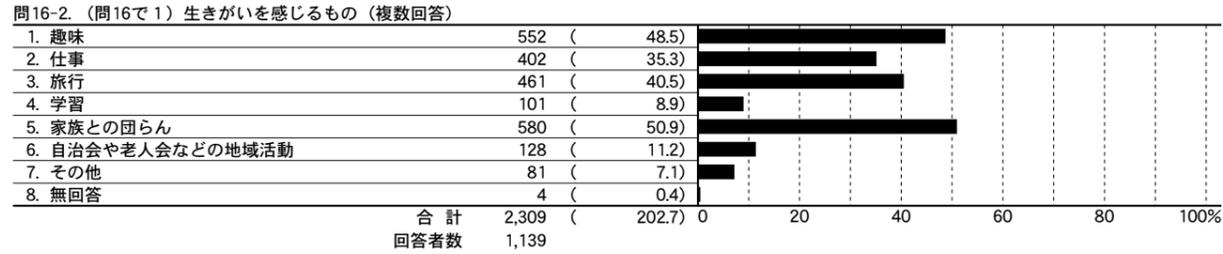
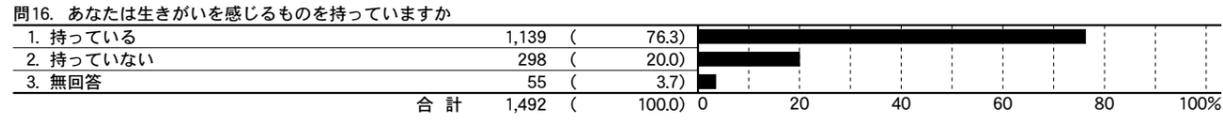
**【回答数】**

調査対象	配布数	回収数	回収率
18歳以上の市民	3,000	1,492	49.7%

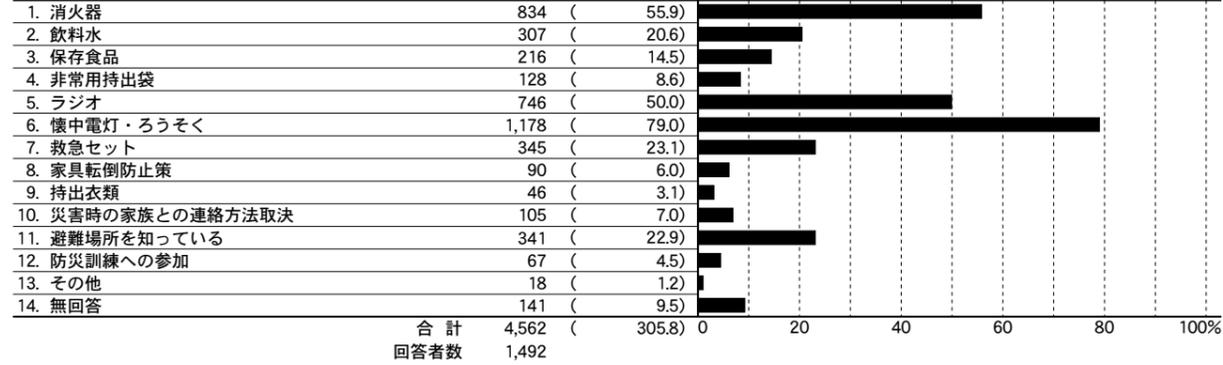
集計結果のパーセントによる表示はすべて、小数点以下第2位を四捨五入しています。そのため、比率の合計が100%にならないことがあります。

※ 基本計画に記載している各施策の成果指標の現状値は、このアンケート結果のうち、無回答を除いた百分率で表記しています。

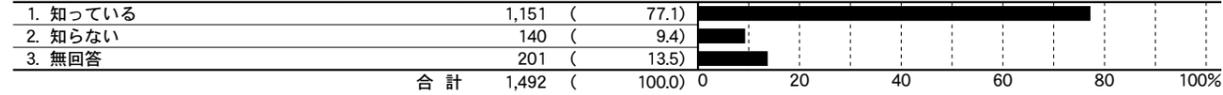




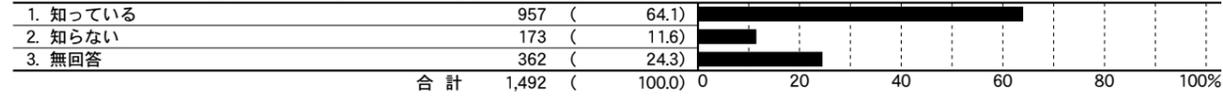
問28. あなたは災害に備えてどんな備えをしていますか（複数回答）



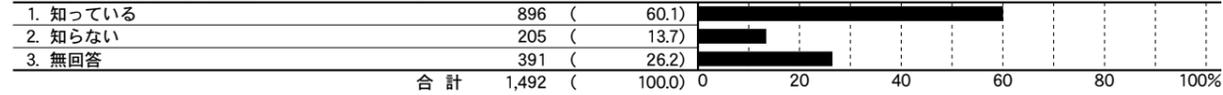
問29. あなたは防災・災害情報が何で（どこで）入手できるか知っていますか 1.テレビ



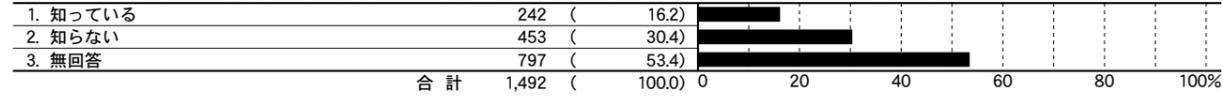
問29. あなたは防災・災害情報が何で（どこで）入手できるか知っていますか 2.ラジオ



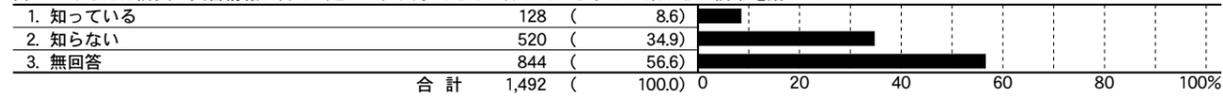
問29. あなたは防災・災害情報が何で（どこで）入手できるか知っていますか 3.新聞



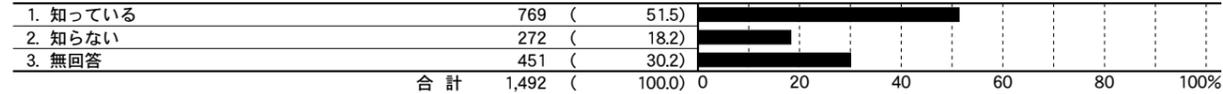
問29. あなたは防災・災害情報が何で（どこで）入手できるか知っていますか 4.市や県のインターネットホームページ



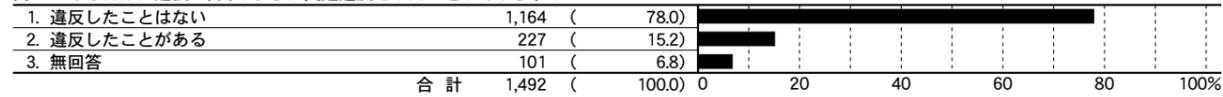
問29. あなたは防災・災害情報が何で（どこで）入手できるか知っていますか 5.県からの携帯電話メール



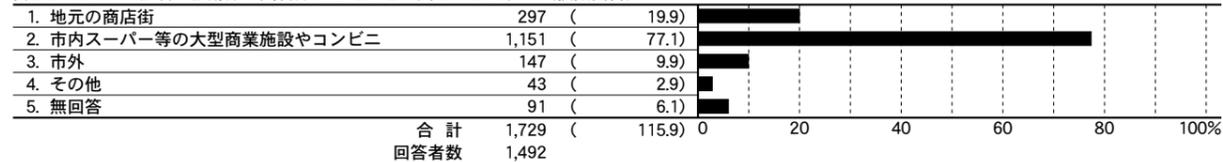
問29. あなたは防災・災害情報が何で（どこで）入手できるか知っていますか 6.市の広報車



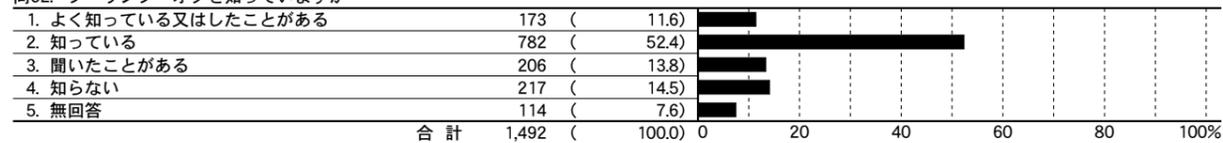
問30. あなたは、過去1年間のうちに交通違反をしたことがありますか



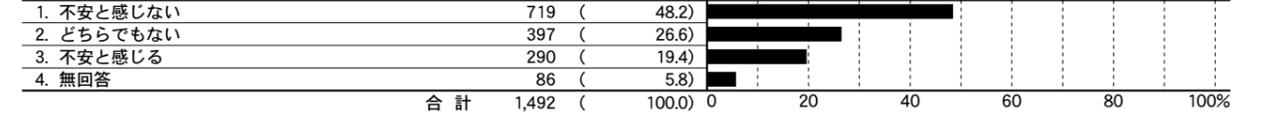
問31. あなたは日頃、日用品や食料品を主にどこで買っていますか（複数回答）



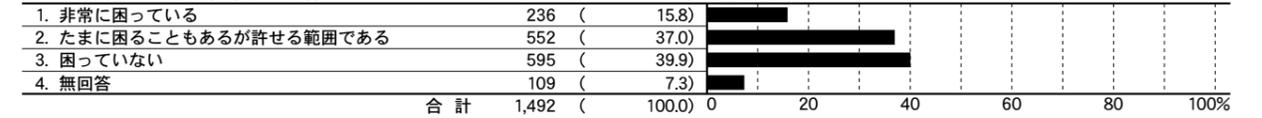
問32. クーリング・オフを知っていますか



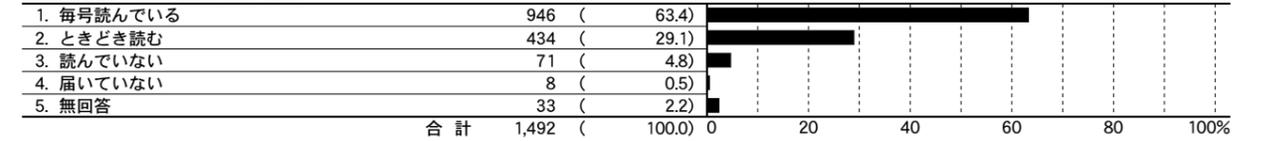
問33. ご自宅の近くの河川について、浸水による被害の不安を感じますか



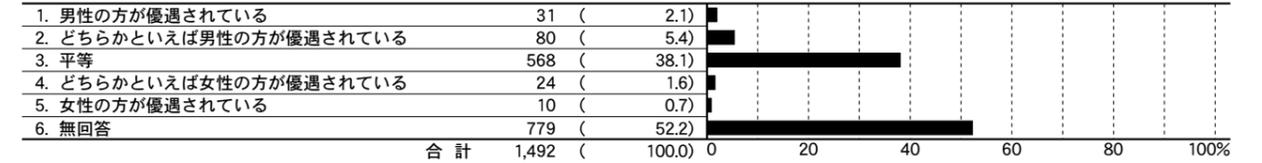
問34. 近隣との生活公害（臭い、騒音、ペット、空き地の管理等）についてあなたは困っていますか



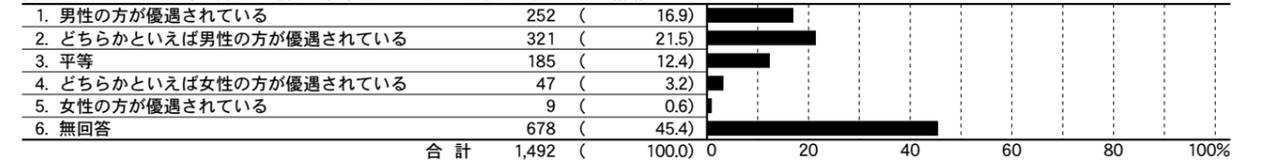
問35. 広報ちくごを読んでみますか



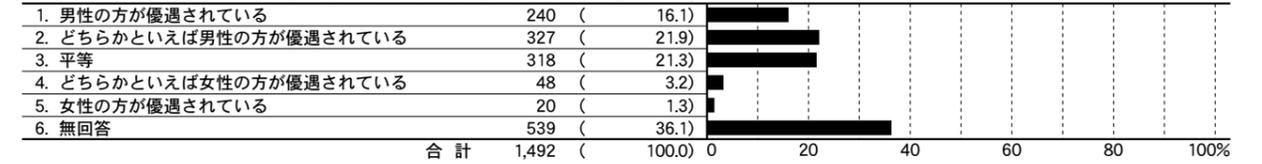
問36. 次にあげる分野で男女の地位は平等になっていると思いますか 1. 学校



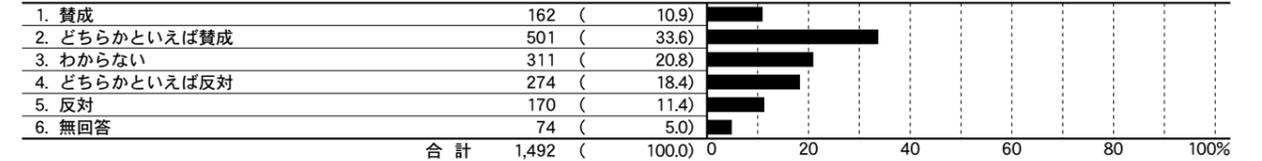
問36. 次にあげる分野で男女の地位は平等になっていると思いますか 2. 職場



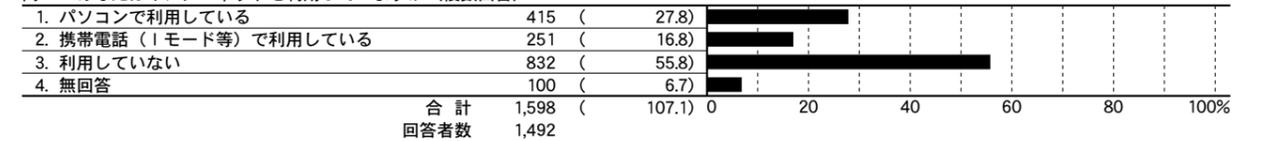
問36. 次にあげる分野で男女の地位は平等になっていると思いますか 3. 家庭

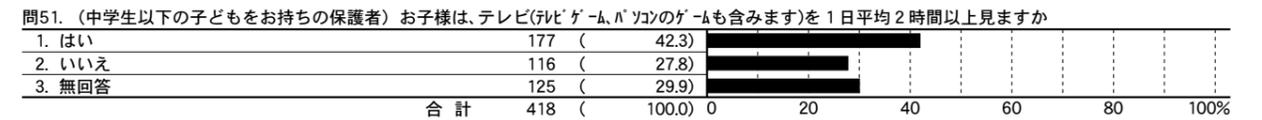
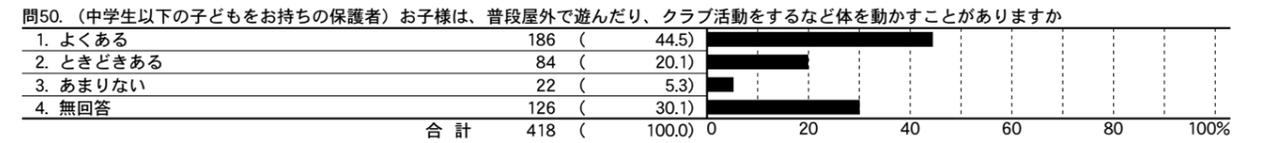
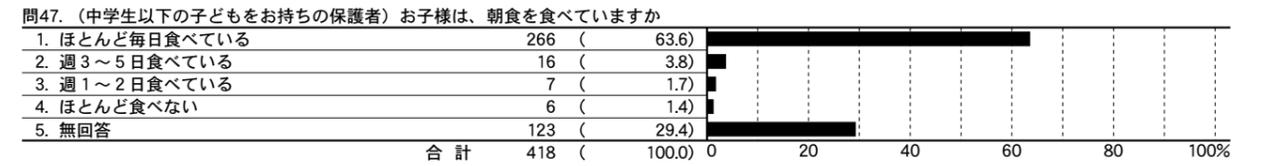
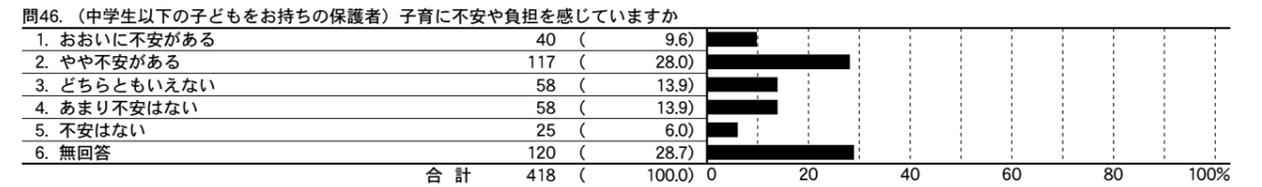
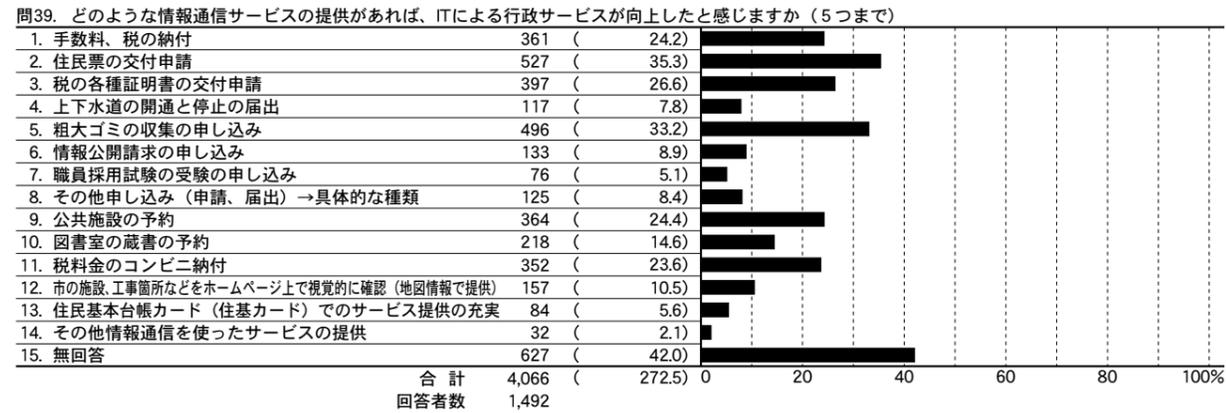


問37. 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」という考え方についてどう思われますか

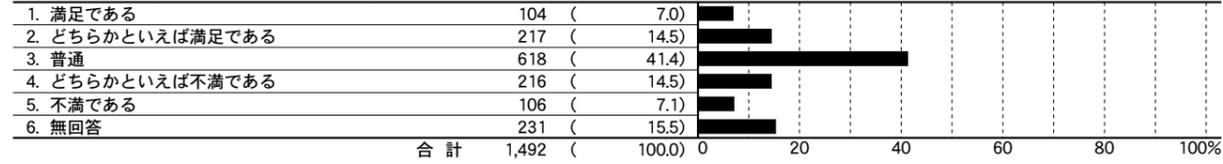


問38. あなたはインターネットを利用していますか（複数回答）

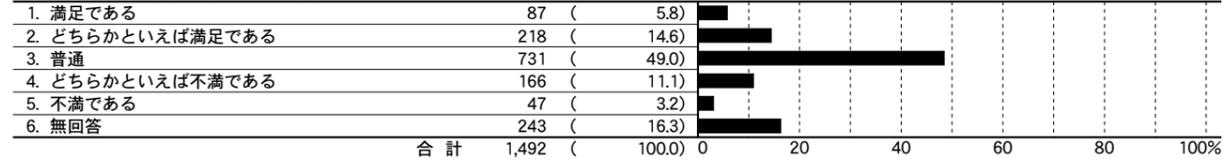




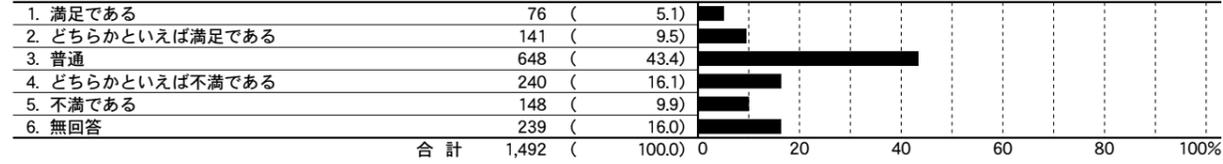
問52. 現在の満足度 1. 市内の公園の量・設備



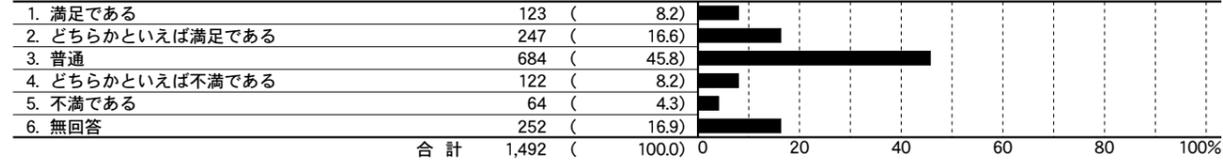
問52. 現在の満足度 2. 市内の自然環境



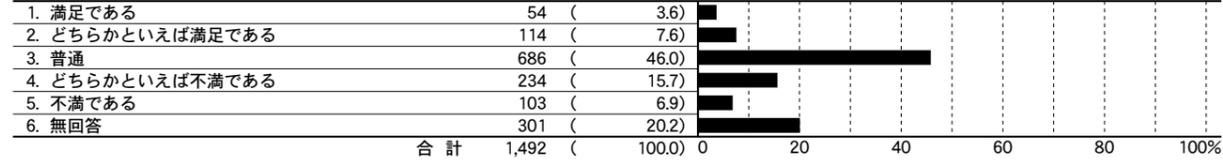
問52. 現在の満足度 3. 公共交通（バス）



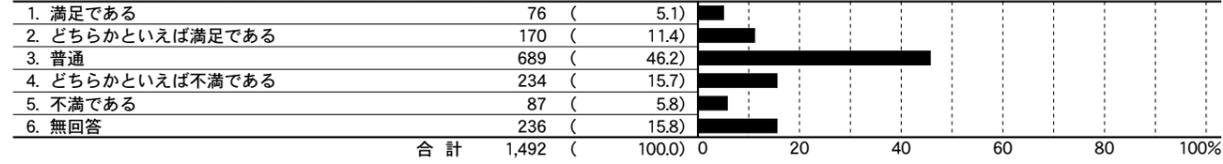
問52. 現在の満足度 4. 公共交通（鉄道）



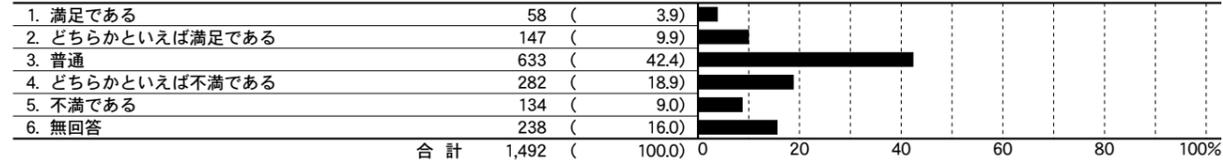
問52. 現在の満足度 5. 市内のバス路線数（コミュニティバス含む）



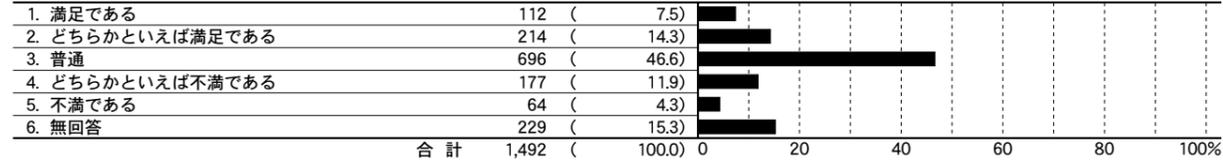
問52. 現在の満足度 6. 久留米、八女、大川等への都市間道路



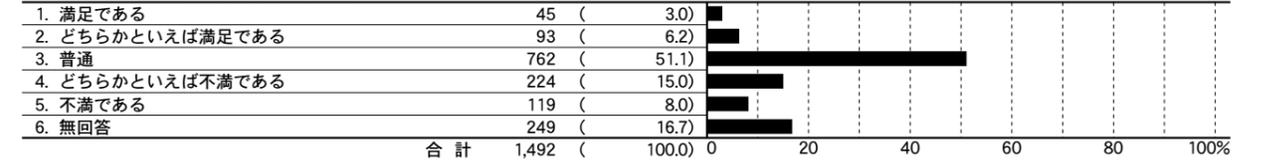
問52. 現在の満足度 7. 生活道路の整備状況



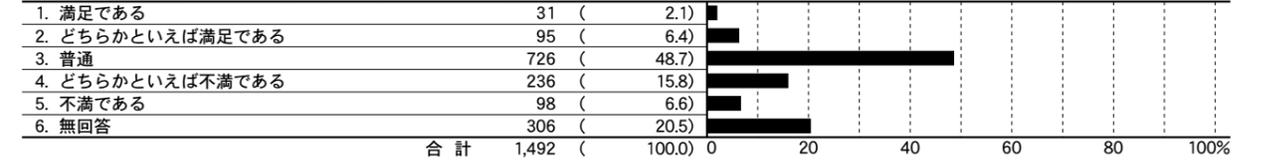
問52. 現在の満足度 8. 駅の利便性



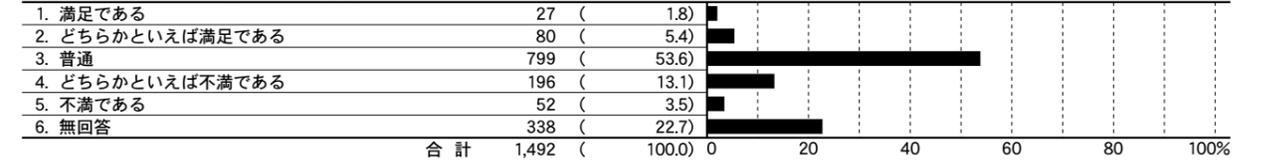
問52. 現在の満足度 9. 水路等の整備状況



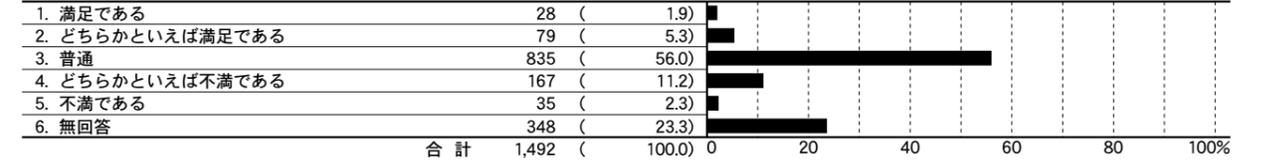
問52. 現在の満足度 10. 生涯学習活動や運動をする施設の整備状況



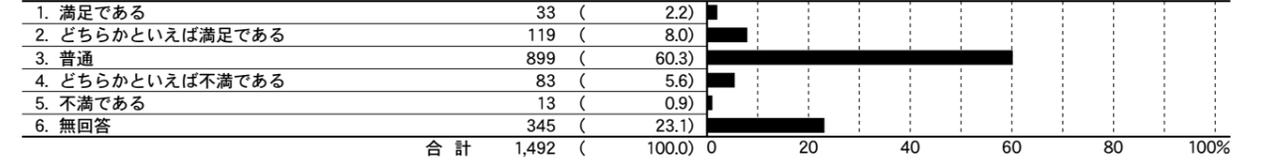
問52. 現在の満足度 11. 生涯学習や運動をおこなう機会



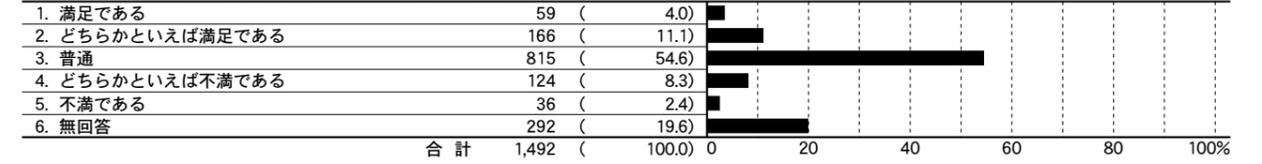
問52. 現在の満足度 12. コミュニティ活動やボランティアの活動施設・場所



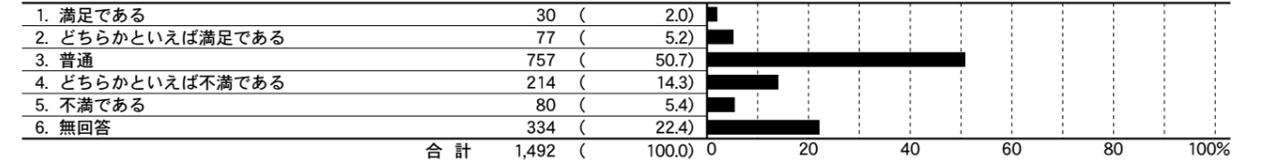
問52. 現在の満足度 13. 「生涯学習ちくご」の内容



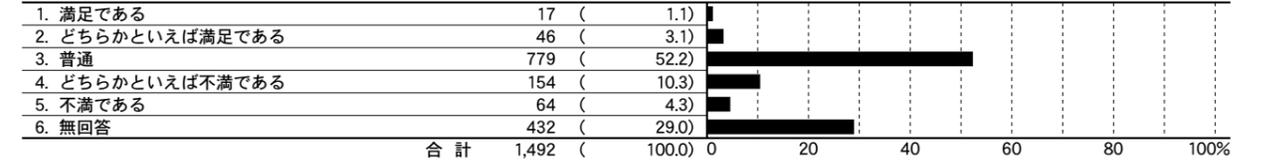
問52. 現在の満足度 14. 行政からの広報や情報を伝える手段



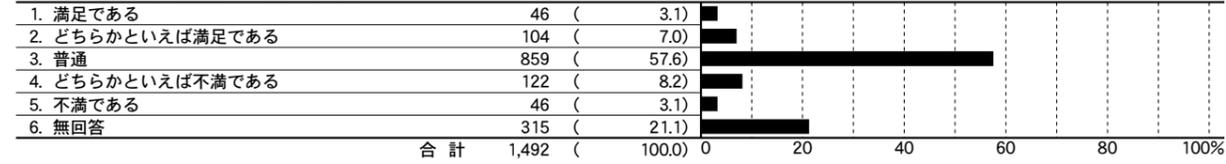
問52. 現在の満足度 15. 市民が意見を行政に伝える機会（広聴）



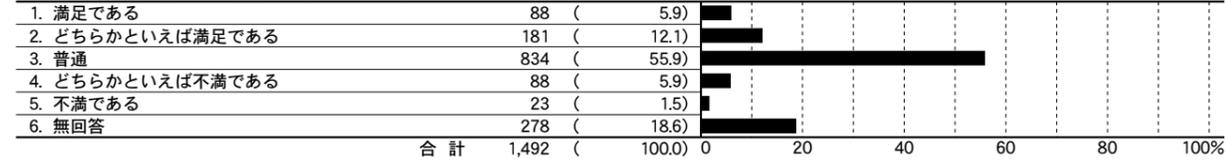
問52. 現在の満足度 16. ITを利用した行政サービス



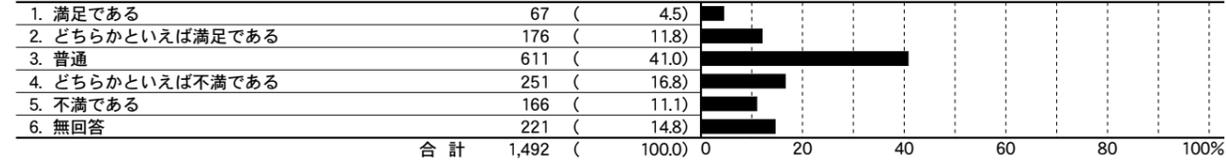
問52. 現在の満足度 17. 筑後市の防災体制



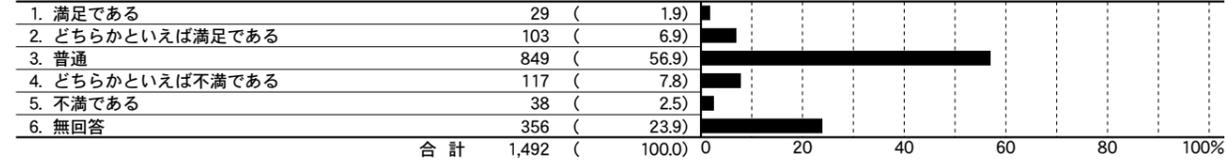
問52. 現在の満足度 18. 筑後市の消防や救急体制



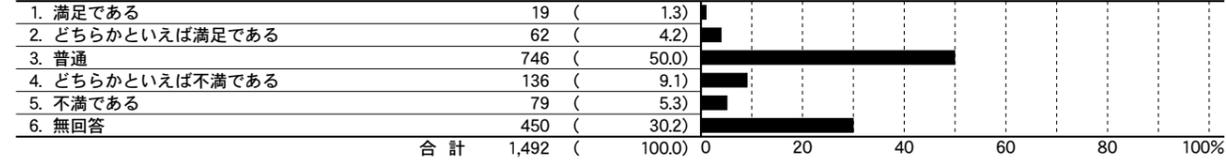
問52. 現在の満足度 19. 筑後市立病院



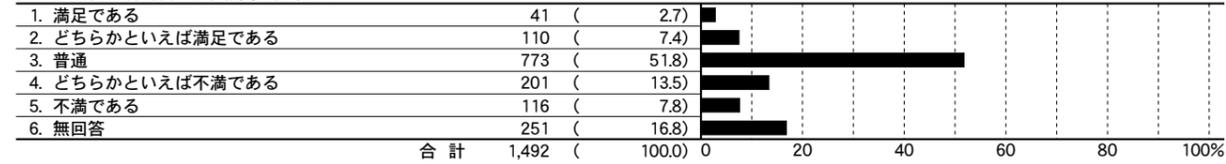
問52. 現在の満足度 20. 社会福祉協議会が地域福祉の推進に果たす機能



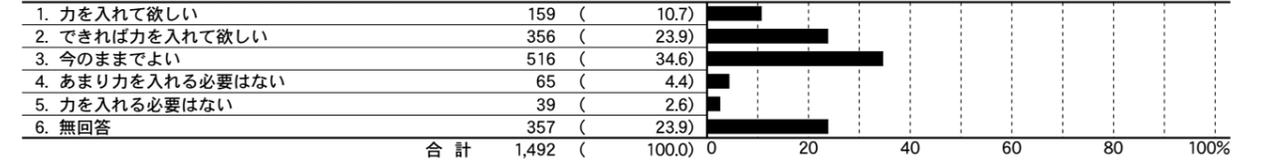
問52. 現在の満足度 21. 職場の福利厚生制度



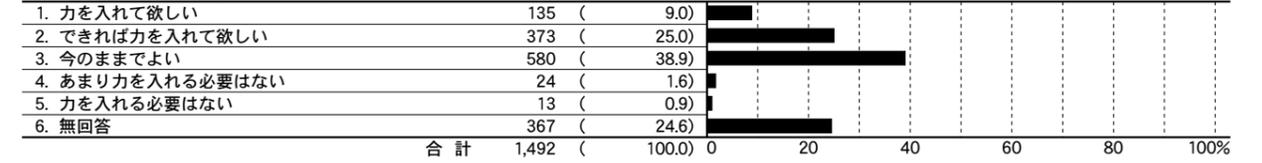
問52. 現在の満足度 22. 市職員の仕事ぶり



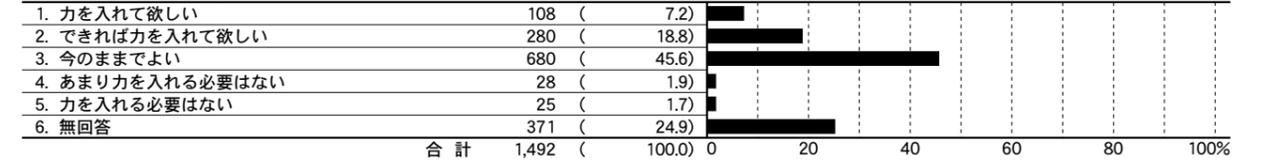
問52. 今後の重要度 1. 市内の公園の量・設備



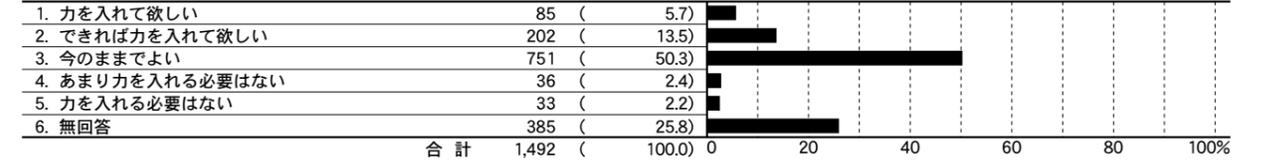
問52. 今後の重要度 2. 市内の自然環境



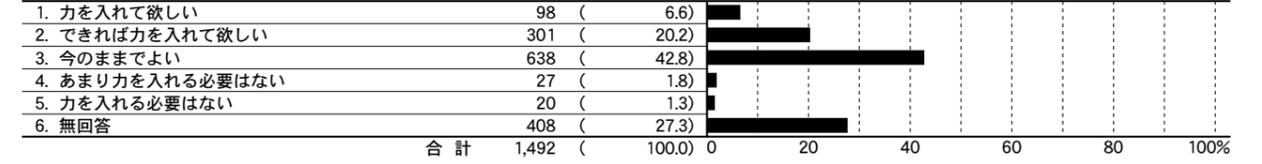
問52. 今後の重要度 3. 公共交通 (バス)



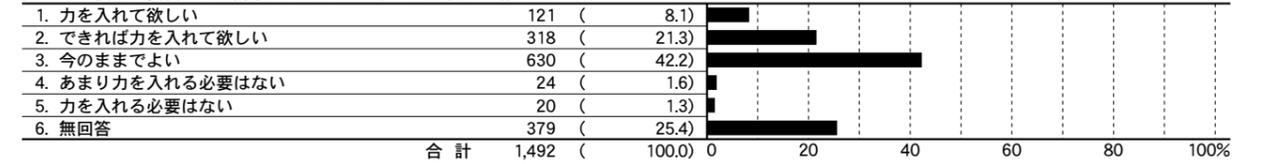
問52. 今後の重要度 4. 公共交通 (鉄道)



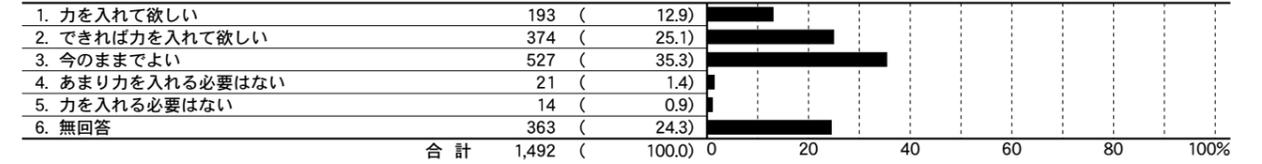
問52. 今後の重要度 5. 市内のバス路線数 (コミュニティバス含む)



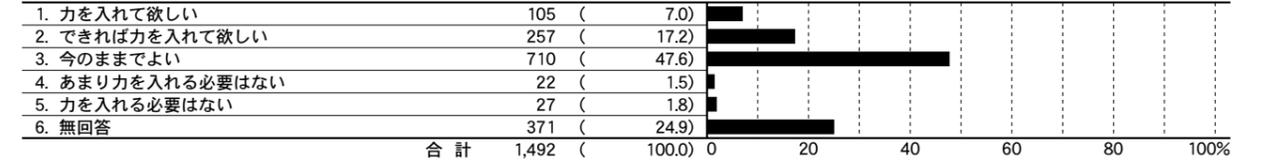
問52. 今後の重要度 6. 久留米、八女、大川等への都市間道路



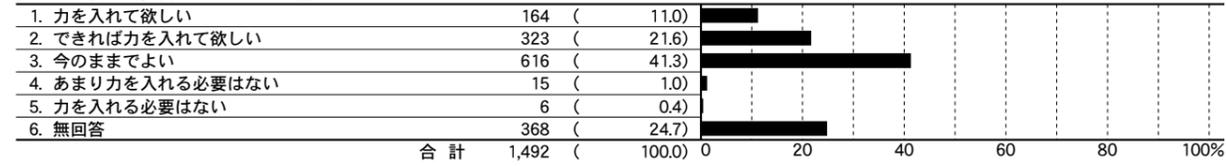
問52. 今後の重要度 7. 生活道路の整備状況



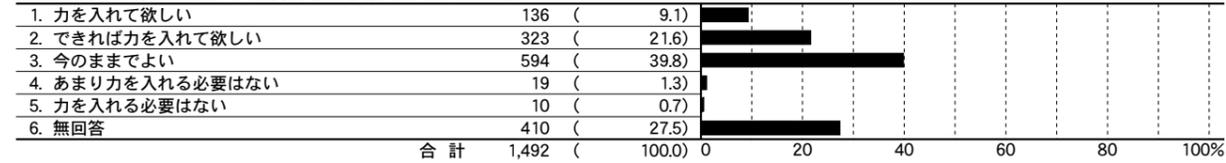
問52. 今後の重要度 8. 駅の利便性



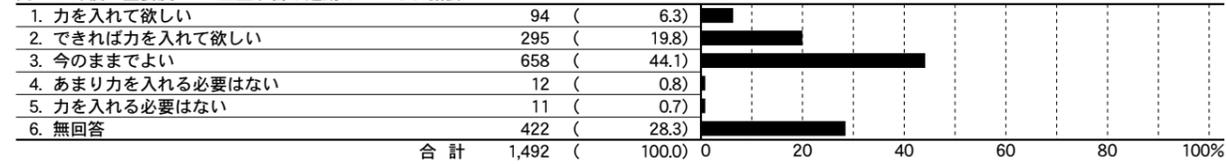
問52. 今後の重要度 9. 水路等の整備状況



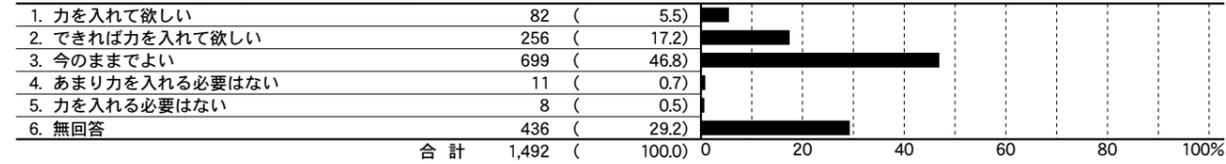
問52. 今後の重要度 10. 生涯学習活動や運動をする施設の整備状況



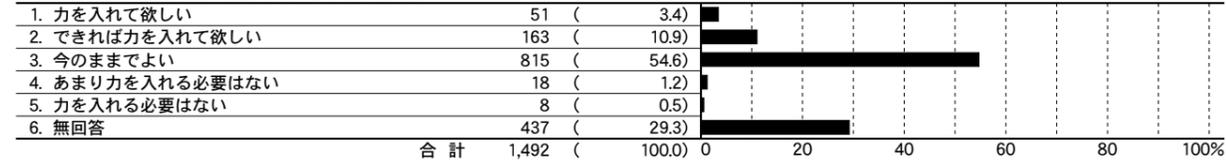
問52. 今後の重要度 11. 生涯学習や運動をおこなう機会



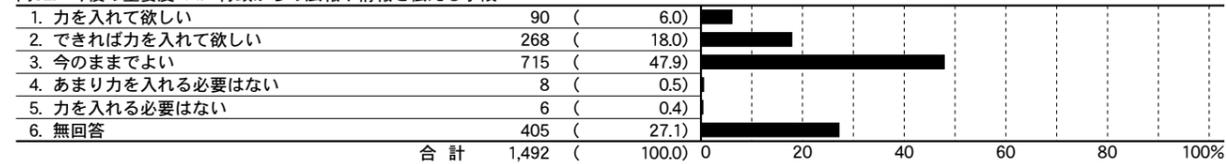
問52. 今後の重要度 12. コミュニティ活動やボランティアの活動施設・場所



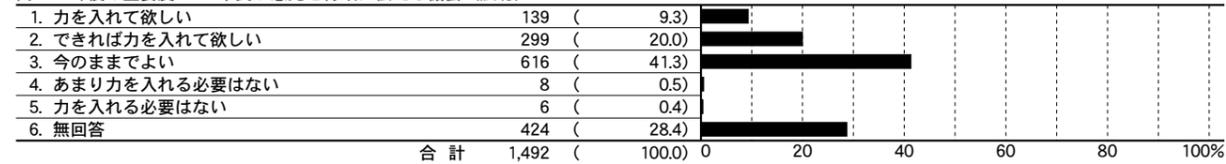
問52. 今後の重要度 13. 「生涯学習ちくご」の内容



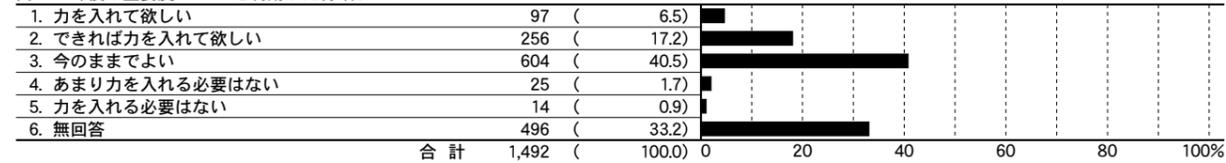
問52. 今後の重要度 14. 行政からの広報や情報を伝える手段



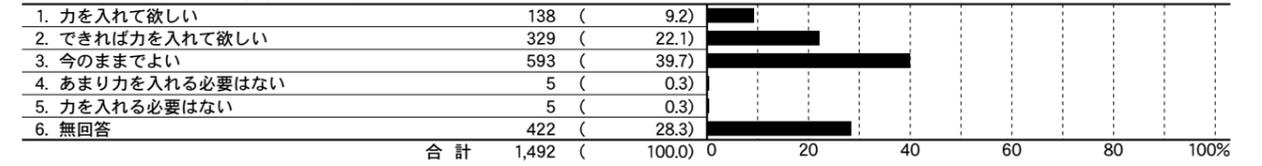
問52. 今後の重要度 15. 市民が意見を行政に伝える機会（広聴）



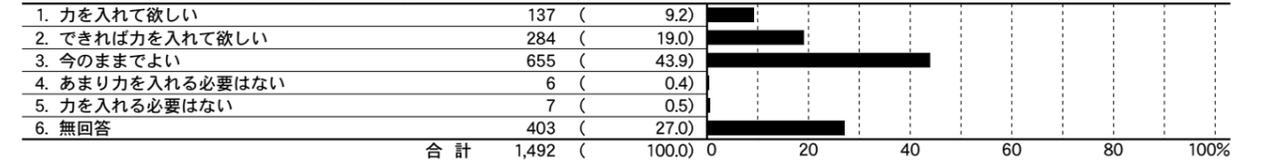
問52. 今後の重要度 16. ITを利用した行政サービス



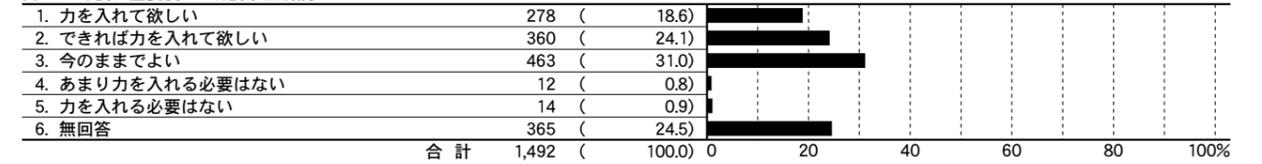
問52. 今後の重要度 17. 筑後市の防災体制



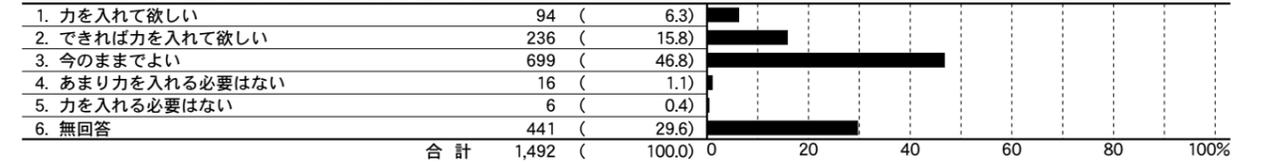
問52. 今後の重要度 18. 筑後市の消防や救急体制



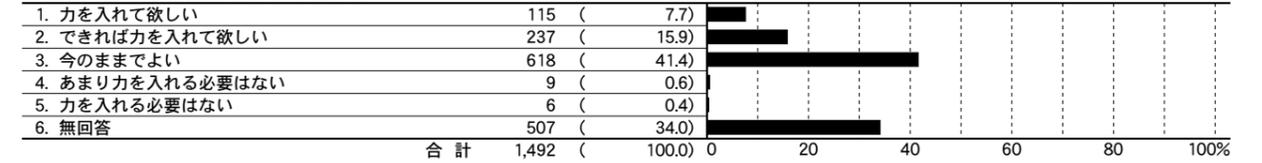
問52. 今後の重要度 19. 筑後市立病院



問52. 今後の重要度 20. 社会福祉協議会が地域福祉の推進に果たす機能



問52. 今後の重要度 21. 職場の福利厚生制度



問52. 今後の重要度 22. 市職員の仕事ぶり

